

海老名市政アンケート調査



えびな

あなたのフィールドへ。海老名市

海老名市

はじめに

近年、社会情勢が大きく変化し、市民の皆様の行政に対するニーズも多様化している中で、地方自治体にはこうした変化に的確に対応するための行財政体制の整備・確立が課題となっております。

また、地方分権や市町村合併などが進展するとともに将来的な人口の減少が明らかになっている中、地方自治体には都市間競争を勝ち抜くことができる戦略的なまちづくりが必要とされております。

こうした中で、市政に対する市民意識の傾向を把握するとともに、市民の意見・要望を的確にとらえて、市の実施計画や施策事業に反映させるため、定期的に「市政アンケート調査」を実施しております。

この報告書は、本年6月、18歳以上の市民の中から等間隔単純無作為方式で抽出した2,175人（うち、市政コメンテーター175人）の方に調査協力をお願いし、回答いただいた結果を分析したものです。

今回の調査では、前回調査した「定住性・生活環境」、「広報・情報化」、「都市ブランド」、「男女共同参画・人権」、「防火・防災・防犯」、「少子化対策」、「環境・資源対策」、「学校教育・家庭教育」などに関する項目に、「危機管理」、「まちづくり」、「文化」といった新しいテーマを加えて実施いたしました。

調査結果につきましては、市政を進めていくための基礎資料として活用させていただきます。

今回の調査に当たりまして、ご協力いただきました市民の皆様に厚くお礼申し上げますとともに、今後も市政に対する一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成21年9月

海老名市長 内野 優

目 次

| | |
|---------------------------|-----|
| I. 調査の概要 | 1 |
| II. 調査票・単純集計結果 | |
| 1. 調査票と単純集計結果 | 3 |
| III. 調査結果の分析 | |
| 1. 調査回答者の特性 | 1 8 |
| 2. 定住性・生活環境 | |
| (1) 居住年数 | 2 1 |
| (2) 定住意向・転出意向 | 2 2 |
| (3) 市内に住みたい理由 | 2 3 |
| (4) 市外に移りたい理由 | 2 4 |
| (5) 生活環境と施策の満足度 | 2 5 |
| 3. 広報・情報化 | |
| (1) 市から発信される情報の情報源 | 2 8 |
| (2) 市の広報媒体の内容について | 2 8 |
| (3) 市の広報媒体で掲載してほしい内容 | 2 9 |
| (4) インターネットの利用状況 | 3 0 |
| (5) インターネットの利用端末の種類 | 3 1 |
| (6) 電子申請の利用状況 | 3 1 |
| (7) 議会インターネット放送の利用状況 | 3 2 |
| 4. 都市ブランド | |
| (1) 海老名市の魅力 | 3 2 |
| 5. 男女共同参画・人権 | |
| (1) 男女平等の実現 | 3 7 |
| 6. 防火・防災・防犯 | |
| (1) 住宅用火災警報器の設置状況 | 3 8 |
| (2) 住宅用火災警報器設置義務化の認知度 | 3 9 |
| (3) 住宅用火災警報器を設置していない理由 | 4 0 |
| (4) 地域防災訓練への参加状況 | 4 0 |
| (5) 防災訓練（自主防災組織）の認知度 | 4 1 |
| 7. 危機管理 | |
| (1) 危機事態対応計画の認知度 | 4 2 |
| (2) 大規模災害に対する備え | 4 2 |
| (3) J-ALERT の認知度 | 4 3 |
| (4) インフルエンザに備えて日頃心がけていること | 4 3 |
| (5) 新型インフルエンザの対応 | 4 4 |
| 8. 少子化対策 | |
| (1) 取り組んで欲しい少子化対策 | 4 5 |

| | |
|---------------------------|----|
| 9. 環境・資源対策 | |
| (1) 環境保全のために心がけていること | 46 |
| (2) レジ袋の使用状況 | 48 |
| (3) レジ袋の有料化について | 49 |
| (4) マイバックについて | 50 |
| (5) 温室効果ガス削減のための有効な施策 | 51 |
| 10. まちづくり | |
| (1) まちの発展と地域活性化のための取り組み | 52 |
| 11. 学校教育・家庭教育 | |
| (1) 小中学校の教育に期待すること | 53 |
| (2) 家庭の教育で大切だと思うこと | 54 |
| 12. 文化 | |
| (1) 海老名市の文化芸術を振興するための取り組み | 55 |
| (2) 「海老名市の文化」に対するイメージ | 56 |
| IV. 集計結果 | |
| 1. 「その他」回答内容 | 57 |
| 2. 問6～問29までの単純集計及びクロス集計表 | 91 |

I . 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、市政に対する市民意識の傾向を把握し、多様化している市民の意見・要望などを調査分析することにより、今後の政策形成の基礎資料とするために、2年に1回実施しております。併せて、市政への直接的な市民参加を促進するものです。

2. 調査の内容

- (1) 定住性・生活環境
- (2) 広報・情報化
- (3) 都市ブランド
- (4) 男女共同参画・人権
- (5) 防火・防災・防犯
- (6) 危機管理
- (7) 少子化対策
- (8) 環境・資源対策
- (9) まちづくり
- (10) 学校教育・家庭教育
- (11) 文化

3. 調査の設計

- (1) 調査地域 : 海老名市全域
- (2) 調査対象 : 海老名市在住の満18歳以上の男女
- (3) 標本数 : 2,175人(うち、市政コメンテーター175名)
- (4) 抽出方法 : 等間隔単純無作為抽出法(市の電算機より抽出)
- (5) 母集団 : 海老名市住民基本台帳及び外国人登録原票
- (6) 調査方法 : 郵送、インターネット
- (7) 調査期間 : 平成21年6月1日～6月15日

4. 地域区分

調査結果の集計にあたっては、下記図及び表1のとおり10地域に区分した。

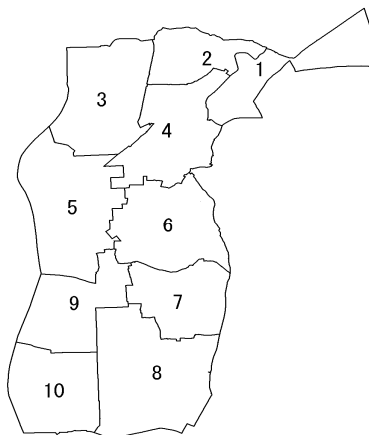


表1 地域区分一覧表

| | | |
|----|----------|---|
| 1 | 柏ヶ谷地域 | 柏ヶ谷、東柏ヶ谷1～6丁目 |
| 2 | 上今泉地域 | 上今泉、上今泉1～6丁目 |
| 3 | 上郷・下今泉地域 | 上郷、上郷1～4丁目、下今泉、下今泉1～5丁目 |
| 4 | 国分地域 | 中央1～3丁目、国分南1～4丁目 国分北1～4丁目、望地1～2丁目、勝瀬 |
| 5 | 海西地域 | 河原口、さつき町、中新田、中新田1～5丁目 |
| 6 | 大谷地域 | 大谷、大谷北1～4丁目、大谷南1～5丁目、国分寺台1～5丁目、浜田町 |
| 7 | 杉久保地域 | 杉久保北1～5丁目、杉久保南1～5丁目 |
| 8 | 本郷地域 | 上河内、中河内、本郷 |
| 9 | 社家地域 | 社家、今里 |
| 10 | 門沢橋地域 | 中野、門沢橋1～6丁目 |

5. 回収結果

| 地域等 | 調査対象人口 (構成比) | 対象者数 | 回答数 | 回収率 |
|----------|-------------------|--------|--------|-------|
| 総数 | 127,105人 (100.0%) | 2,175人 | 1,484人 | 68.2% |
| 柏ヶ谷地域 | 21,465人 (16.9%) | 347人 | 226人 | 65.1% |
| 上今泉地域 | 13,220人 (10.4%) | 239人 | 162人 | 67.8% |
| 上郷・下今泉地域 | 6,762人 (5.3%) | 110人 | 67人 | 60.9% |
| 国分地域 | 24,648人 (19.4%) | 429人 | 299人 | 76.7% |
| 海西地域 | 18,466人 (14.5%) | 308人 | 224人 | 72.7% |
| 大谷地域 | 16,270人 (12.8%) | 300人 | 208人 | 69.3% |
| 杉久保地域 | 9,549人 (7.5%) | 153人 | 103人 | 67.3% |
| 本郷地域 | 3,356人 (2.7%) | 59人 | 42人 | 71.2% |
| 社家地域 | 5,853人 (4.6%) | 99人 | 69人 | 69.7% |
| 門沢橋地域 | 7,516人 (5.9%) | 131人 | 74人 | 56.5% |

*調査対象人口は平成21年6月1日現在

*居住地域の設問に対して、無回答が10票あったため、各地域の回答数の合計は、総数に一致していない。

6. この報告書の見方

- (1) 図表中のNは回答者数です。
- (2) 回答比率(%)は、すべてNを基数とした百分率で表し、小数点第2位を四捨五入しています。このため、回収比率の合計が100%にならない場合があります。
- (3) 1つの設問に2つ以上選択回答できる「複数回答」の場合には、回答比率の合計が100%を超えます。
- (4) 調査結果の分析の文章には、図表に掲載されている以外の比率も使用されています。比率の詳細は、巻末集計結果表を参照してください。

Ⅱ. 調査票・単純集計結果

2. 調査票と単純集計結果

平成21年度

海老名市政アンケート調査

アンケート調査ご協力のお願い

日ごろ、市政運営にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

現在、海老名市では将来都市像「快適に暮らす 魅力あふれるまち 海老名」の実現をめざし、住みよいまちづくりを進めております。

さて、今回お願いいたしますこの調査は、市民のみなさんのご意見を伺い、今後の市政運営に役立てていくことを目的に実施するものです。

調査の実施にあたり、18歳以上の市民の皆様の中から、調査対象者として2,000人を無作為に選んだところ、あなた様にご協力をお願いすることになりました。

この調査は無記名の上、調査の結果は統計的に処理し、具体的な内容を記入いただいた場合も個人が特定できないよう処理しますので、率直なご意見をお聞かせください。

お忙しいところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をいただきますようお願いいたします。

平成21年 6月

海 老 名 市 長

(ご記入にあたってのお願い)

- *あて名の方、ご本人がお答えください。
- *お答えは、あてはまる回答の番号を右の□欄にご記入ください。一つの□欄につき一つのお答えをご記入ください。
なお、あてはまる番号に○印をする指示がある場合は、番号に○印をしてください。
- *一部の方にお答えいただく質問もございますが、その場合は<・・・と答えた方に、お伺いします。>といった指示に沿ってお答えください。
- *「その他」の番号をご記入した場合は、()内に内容を具体的にご記入ください。
- *ご記入は、鉛筆か、黒または青のボールペンでお願いします。

(調査についてのお問い合わせと調査票回収についてのお願い)

☆この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

海老名市 総務部広聴相談課 046-235-4567

☆ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒をご使用になり、**6月15日(月)**までに、ご投函くださいますようお願いいたします。(切手は不要です。)

※調査票2,175名送付中、1,484名分回収—回収率68.2%

◎選択肢項目後の数値は回答者 N に対する選択率%で、() 内は回答者数です。回答者 N は、記載が無い限り全体数(1484)です。

[フェイスシート] <あなた自身のことについて、お伺いします。>

【問1】 あなたの性別はどちらですか。

1. 男性 47.0 (698) 2. 女性 52.4 (778) *無回答 0.5 (8)

【問2】 あなたの年齢はおいくつですか。

- | | | | |
|-----------|------------|-----------|------------|
| 1. 18～24歳 | 5.6 (83) | 6. 60～64歳 | 11.7 (173) |
| 2. 25～29歳 | 5.6 (84) | 7. 65～74歳 | 19.3 (287) |
| 3. 30～39歳 | 19.4 (289) | 8. 75歳以上 | 4.2 (62) |
| 4. 40～49歳 | 16.6 (246) | * 無回答 | 0.3 (4) |
| 5. 50～59歳 | 17.3 (256) | | |

【問3】 あなたのお住まいの地域は、どちらですか。

- | | |
|----------------------------|------------|
| 1. 柏ヶ谷地域 (東柏ヶ谷、柏ヶ谷) | 15.2 (226) |
| 2. 上今泉地域 | 10.9 (162) |
| 3. 上郷・下今泉地域 | 4.5 (67) |
| 4. 国分地域 (中央、国分南、国分北、望地、勝瀬) | 20.1 (299) |
| 5. 海西地域 (河原口、さつき町、中新田) | 15.1 (224) |
| 6. 大谷地域 (大谷北、大谷南、国分寺台、浜田町) | 14.0 (208) |
| 7. 杉久保地域 | 6.9 (103) |
| 8. 本郷地域 (上河内、中河内、本郷) | 2.8 (42) |
| 9. 社家地域 (社家、今里) | 4.6 (69) |
| 10. 門沢橋地域 (中野、門沢橋) | 5.0 (74) |
| * 無回答 | 0.7 (10) |

【問4】 あなたの職業は、次のどれですか。

- | | |
|-----------------------|------------|
| 1. 農林漁業の自営者・家族従業者 | 1.1 (16) |
| 2. 商工サービス業の自営者・家族従業者 | 3.1 (46) |
| 3. 自由業 (開業医、弁護士、著述業等) | 1.2 (18) |
| 4. 事務職 | 11.4 (169) |
| 5. 技能・技術職 | 17.7 (262) |
| 6. 販売・サービス職 | 9.2 (137) |
| 7. アルバイト・パート | 12.9 (191) |
| 8. 学生 | 2.7 (40) |
| 9. 専業主婦・主夫 | 22.0 (327) |
| 10. 無職 | 14.3 (212) |
| 11. その他 () | 3.2 (48) |
| * 無回答 | 1.2 (18) |

<問4で1～8までのいずれかを答えた方にお伺いします。> (N=879)

【問4-1】 あなたの通勤・通学先はどちらですか。

| | |
|-----------------------------|------------|
| 1. 海老名市内 | 29.7 (261) |
| 2. 近隣市町 (厚木、大和、座間、綾瀬、藤沢、寒川) | 25.7 (226) |
| 3. 横浜市・川崎市 | 15.5 (136) |
| 4. その他神奈川県内 | 9.8 (86) |
| 5. 東京23区 | 14.3 (126) |
| 6. 東京23区以外の都内市町村 | 2.4 (21) |
| 7. その他 () | 1.5 (13) |
| * 無回答 | 1.1 (10) |

【問5】 あなたが暮らしている家族構成は、次のどれにあてはまりますか。

| | |
|------------------|------------|
| 1. 単身世帯 | 8.9 (132) |
| 2. 夫婦のみ | 25.8 (383) |
| 3. 二世帯世帯 (親と子) | 54.5 (809) |
| 4. 三世帯世帯 (親と子と孫) | 7.2 (107) |
| 5. その他 () | 2.4 (35) |
| * 無回答 | 1.2 (18) |

【定住性・生活環境】

【問6】 あなたは、海老名市に住んで何年になりますか。

| | |
|---------------|------------|
| 1. 1年未満 | 3.1 (46) |
| 2. 1年以上5年未満 | 11.5 (170) |
| 3. 5年以上10年未満 | 12.0 (178) |
| 4. 10年以上20年未満 | 19.2 (285) |
| 5. 20年以上 | 42.0 (624) |
| 6. 生まれてからずっと | 10.8 (160) |
| * 無回答 | 1.4 (21) |

【問7】 あなたは、これからも海老名市に住みたいと思いますか。

| | |
|-----------------|------------|
| 1. ずっと住みたい | 35.8 (531) |
| 2. できれば住み続けたい | 51.3 (761) |
| 3. できれば市外に移りたい | 10.7 (159) |
| 4. すぐにでも市外に移りたい | 0.9 (14) |
| * 無回答 | 1.3 (19) |

<問7で「1.ずっと住みたい」「2.できれば住み続けたい」と答えた方にお伺いします。>

【問7-1】 市内に住みたいのはなぜですか。次の中から**1つ**お答えください。(N=1,292)

| | |
|-----------------------|------------|
| 1. 自分、または家族の家や土地があるから | 41.3 (533) |
| 2. 住み慣れて愛着があるから | 26.2 (338) |
| 3. つき合い等の人間関係が良いから | 5.3 (68) |
| 4. 仕事や学校の関係があるから | 3.8 (49) |
| 5. 通勤・通学に便利だから | 6.2 (80) |
| 6. 買い物等生活に便利だから | 7.2 (93) |
| 7. 自然環境が良いから | 6.4 (83) |
| 8. 公共施設が整っているから | 0.5 (7) |
| 9. 保健福祉等の施策が良いから | 0.3 (4) |
| 10. 子育てがしやすいから | 1.0 (13) |
| 11. その他 () | 1.9 (24) |

<問7で「3.できれば市外に移りたい」「4. すぐにでも市外に移りたい」と答えた方にお伺いします。> (N=173)

【問7-2】 市外に移りたいのはなぜですか。次の中から**1つ**お答えください。

| | |
|-----------------------|-----------|
| 1. 自分、または家族の家や土地がないから | 10.4 (18) |
| 2. 周囲の環境が良くないから | 8.1 (14) |
| 3. つき合い等の人間関係が良くないから | 5.2 (9) |
| 4. 仕事や学校の関係があるから | 6.9 (12) |
| 5. 通勤・通学に不便だから | 17.9 (31) |
| 6. 買い物等生活に不便だから | 13.9 (24) |
| 7. 自然環境が悪いから | 3.5 (6) |
| 8. 公共施設が整っていないから | 3.5 (6) |
| 9. 保健福祉等の施策が良くないから | 8.1 (14) |
| 10. 子育てがしにくいから | 2.9 (5) |
| 11. その他 () | 19.7 (34) |

【問8】 あなたのお住まいの周囲の生活環境や施策の状況等で、ア～ニの各項目について、
あてはまると思う番号に○印をお願いします。

| | 1 満足 | 2 やや満足 | 3 どちらとも 言えない | 4 やや不満 | 5 不満 | 無回答 |
|-------------------------------|---------|-----------|--------------------|-----------|---------|-----|
| ア. 保健相談センターや病院等の保健医療施設 | 13.3 | 34.6 | 29.2 | 15.2 | 5.4 | 2.3 |
| イ. デイサービス施設等の高齢者・障がい者福祉の施設 | 3.4 | 15.0 | 64.0 | 8.0 | 3.0 | 6.5 |
| ウ. 体育館や図書館等の文化・スポーツ施設 | 11.6 | 35.3 | 29.9 | 13.9 | 5.5 | 3.8 |
| エ. 小中学校等の教育施設 | 9.6 | 28.3 | 45.7 | 8.0 | 2.1 | 6.3 |
| オ. 樹林地や田園等の緑と自然環境 | 16.0 | 38.4 | 24.5 | 12.2 | 4.2 | 4.7 |
| カ. ごみ処理と資源回収 | 23.0 | 47.0 | 18.4 | 7.3 | 2.2 | 2.0 |
| キ. 騒音・振動・悪臭等の公害対策 | 8.2 | 23.5 | 33.0 | 21.2 | 11.7 | 2.4 |
| ク. 火災や自然災害に対する体制・対策 | 6.9 | 23.3 | 58.6 | 6.2 | 1.7 | 3.2 |
| ケ. 防犯に対する体制・対策 | 5.3 | 23.9 | 49.7 | 13.0 | 4.6 | 3.5 |
| コ. 歩道・信号の設置等の交通安全対策 | 6.5 | 27.0 | 30.9 | 24.9 | 8.5 | 2.2 |
| サ. 歩道の無い通学路の路側帯を緑色に着色する交通安全対策 | 8.0 | 27.0 | 40.3 | 14.6 | 6.8 | 3.2 |
| シ. 既設道路の補修 | 5.3 | 24.2 | 43.6 | 17.5 | 6.1 | 3.4 |
| ス. 生活道路の整備 | 6.9 | 27.6 | 37.4 | 17.9 | 7.5 | 2.6 |
| セ. 二車線以上に区分された道路の整備 | 6.3 | 26.5 | 44.6 | 13.5 | 4.9 | 4.1 |
| ソ. 下水道・排水処理 | 16.3 | 36.9 | 34.2 | 6.7 | 3.3 | 2.6 |
| タ. 駅周辺市街地整備 | 11.3 | 36.9 | 25.9 | 16.2 | 6.6 | 3.1 |
| チ. 交通機関へのアクセス | 21.8 | 39.2 | 19.2 | 12.9 | 4.2 | 2.7 |
| ツ. 公園・遊び場の整備 | 9.3 | 31.7 | 34.3 | 16.0 | 5.5 | 3.2 |
| テ. 買い物等の生活の便利さ | 21.8 | 39.0 | 19.1 | 13.1 | 5.0 | 2.0 |
| ト. 産業の振興 | 3.2 | 13.5 | 61.4 | 13.2 | 4.0 | 4.6 |
| ナ. 市民の市政への参加 | 2.6 | 12.5 | 67.9 | 10.7 | 2.5 | 3.8 |
| ニ. 市の行財政運営 | 3.1 | 13.9 | 64.3 | 11.0 | 3.8 | 3.9 |

【広報・情報化】

【問9】 あなたは、市が発信する情報を、どのような手段で入手していますか。次の中から該当するものを**すべて**お答えください。

- | | |
|------------|--------------------|
| 1. 広報えびな | 88.7 (1317) |
| 2. 議会だより | 49.9 (740) |
| 3. 市ホームページ | 18.8 (279) |
| 4. 自治会回覧版 | 58.8 (872) |
| 5. 新聞 | 30.3 (449) |
| 6. その他 () | 4.6 (69) |
| * 無回答 | 8.7 (129) |

【問9-1】 現在の広報えびな、議会だより、市のホームページの内容について、どう思われますか。あてはまると思う**番号に○印**をお願いします。

| | 1. わかりやすい | 2. ふつう | 3. わかりにくい | 無回答 |
|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ア 広報えびな | 39.4 | 55.9 | 1.3 | 3.3 |
| イ 議会だより | 8.8 | 62.1 | 11.3 | 17.9 |
| ウ 市ホームページ | 5.3 | 39.2 | 10.1 | 45.4 |

【問9-2】 広報えびな、議会だより、市のホームページにどのような記事（内容）を掲載してほしいと思いますか。次の中から**3つまで**お答えください。

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 市長の市政運営における考え方 | 18.4 (273) |
| 2. 制度の変更や手続きの案内 | 37.9 (563) |
| 3. 市の予算やその使われ方 | 25.5 (378) |
| 4. 市の主要な計画 | 24.5 (363) |
| 5. 主な事業内容や進みぐあい | 18.5 (275) |
| 6. 市が抱えている課題 | 23.2 (345) |
| 7. 文化・スポーツ・野外教育施設等の紹介 | 15.4 (228) |
| 8. 市以外が主催のサークルやイベント | 9.5 (141) |
| 9. 市主催の講座・イベント | 26.6 (395) |
| 10. 地域の話題 | 14.2 (211) |
| 11. 検診の日程 | 10.9 (162) |
| 12. 休日・急患診療所 | 22.6 (335) |
| 13. 地震や水害などの防災対策 | 12.9 (191) |
| 14. 市の保有する統計情報 | 2.4 (36) |
| 15. ごみ・資源のリサイクル等の環境対策 | 14.0 (208) |
| 16. その他 () | 1.4 (21) |
| * 無回答 | 4.5 (67) |

【問 10】 あなたは、インターネットを利用していますか。

- | | |
|------------|------------|
| 1. はい | 57.5 (853) |
| 2. 今後利用したい | 8.4 (124) |
| 3. いいえ | 31.1 (461) |
| * 無回答 | 3.1 (46) |

<問 10 で「1. はい」と答えた方にお伺いします。問 10-4 までお答えください。>

【問 10-1】 インターネットを利用するときは、どのような機器を利用していますか。次の中から主に利用するものを**1つ**お答えください。

- | | |
|-----------------------------|------------|
| 1. 自宅のパソコン | 85.0 (725) |
| 2. 勤め先のパソコン | 9.5 (81) |
| 3. 学校のパソコン | 0.0 (0) |
| 4. 携帯電話 | 4.7 (40) |
| 5. コミュニティセンター等に設置している公共情報端末 | 0.2 (2) |
| 6. その他 () | 0.5 (4) |
| * 無回答 | 0.1 (1) |

【問 10-2】 市では、各種申請・届出などのオンラインサービスを提供しています。電子申請で申請をしたことがありますか。 (N=853)

※ 現在、行うことができる申請・届出

①住民票の写し交付申請②住民票記載事項証明（定型）交付申請③住民基本台帳カードを使用した転出届（付記転出届）④印鑑登録証明書交付申請⑤粗大ごみ収集申請⑥犬の死亡と登録事項変更届⑦広報掲載依頼（サークル募集）⑧行政文書公開請求⑨成人歯科健診・がん集団検診申込

- | | |
|--------|------------|
| 1. はい | 6.8 (58) |
| 2. いいえ | 92.6 (790) |
| * 無回答 | 0.6 (5) |

【問 10-3】 電子申請でどのような申請ができると便利だと思われませんか。カッコ内に申請内容をご記入ください。

【問 10-4】 海老名市議会では議会の審議をインターネットにより放送（生放送、録画放送）していますが、あなたはこの議会インターネット放送を見たことがありますか。(N=853)

| | |
|--------------------|------------|
| 1. よく見る | 0.4 (3) |
| 2. ときどき見る | 2.6 (22) |
| 3. 議場で直接傍聴するので見ない | 0.1 (1) |
| 4. 見る時間がない | 11.5 (98) |
| 5. 見たいと思わない | 8.1 (69) |
| 6. 放送していることを知らなかった | 73.0 (623) |
| 7. その他 () | 1.2 (10) |
| * 無回答 | 3.2 (27) |

[都市ブランド]

【問 11】 あなたは、海老名市のどのようなところに強い魅力を感じますか。次の中から**3つ**お答えください。

| | |
|----------------------------------|------------|
| 1. 東京や横浜など大都市に近く、通勤や通学に便利であること | 64.2 (953) |
| 2. 豊かな緑や川などの自然が身近にあること | 44.3 (657) |
| 3. 生活の利便性と自然環境のバランスがとれていること | 27.6 (410) |
| 4. 社会的弱者への支援が充実し、社会福祉の水準が高いこと | 2.4 (35) |
| 5. 育児支援や教育が充実し、子育てのための環境が整っていること | 4.1 (61) |
| 6. 史跡や歴史遺産に恵まれていること | 4.6 (68) |
| 7. スポーツ・レクリエーションの施設や機会に恵まれていること | 3.5 (52) |
| 8. 買い物、交通、医療など生活関連施設が整い、利便性が良いこと | 18.1 (268) |
| 9. 公害やごみ問題等の環境対策が充実していること | 1.9 (28) |
| 10. 産業や経済が盛んで、仕事の機会に恵まれていること | 0.1 (2) |
| 11. 新鮮な農産物が身近で生産され、入手しやすいこと | 4.0 (59) |
| 12. 市全体に公衆道徳が行き届いていること | 0.3 (5) |
| 13. 近所づきあいやサークル活動が盛んで、人間関係が良いこと | 0.7 (11) |
| 14. 行政サービスが充実していること | 0.1 (2) |
| * 無回答 | 2.9 (43) |

【男女共同参画・人権】

【問 12】 あなたは、ア～カの各項目について、男女の平等がどの程度実現されていると思いますか。あてはまると思う番号に○印をお願いします。

| | 1 男性が優位 | 2 どちらかといえ ば男性が優位 | 3 おおむね平等 | 4 どちらかといえ ば女性が優位 | 5 女性が優位 | 6 わからない | 無回答 |
|------------------------------|------------|------------------------|-------------|------------------------|------------|------------|-----|
| ア. 家庭生活の中で | 5.9 | 27.3 | 48.9 | 9.8 | 2.6 | 2.7 | 2.9 |
| イ. 職場の中で | 15.2 | 34.8 | 29.9 | 1.8 | 1.3 | 9.2 | 7.7 |
| ウ. 学校教育の中で | 1.6 | 9.0 | 56.9 | 2.8 | 0.9 | 19.8 | 9.0 |
| エ. 社会通念・慣習・しきたりなどで | 12.1 | 49.2 | 24.3 | 2.0 | 0.6 | 6.4 | 5.5 |
| オ. 法律や制度の上で | 9.2 | 30.5 | 42.0 | 4.0 | 1.1 | 8.1 | 5.1 |
| カ. 地域活動（自治会・PTA・ボランティア活動など）で | 4.0 | 18.4 | 48.1 | 10.6 | 2.4 | 12.0 | 4.6 |

【防火・防災・防犯】

【問 13】 あなたの家庭では、住宅用火災警報器を設置していますか。

- | | |
|------------|------------|
| 1. 設置している | 41.1 (610) |
| 2. 設置していない | 57.4 (852) |
| * 無回答 | 1.5 (22) |

※ 消防法の改正に伴い一般家庭でも住宅用火災警報器を寝室に設置することが義務づけられ、新築住宅は平成18年6月1日から、既存住宅について海老名市では平成23年5月31日までに設置することになりました。

<問 13で「2 設置していない」と答えた方にお伺いします。>

【問 13-1】 住宅用火災警報器の設置の義務化についてご存知でしたか。 (N=852)

- | | |
|----------|------------|
| 1. 知っている | 73.5 (626) |
| 2. 知らない | 26.4 (225) |
| * 無回答 | 0.1 (1) |

<問 13-1 で「1 知っている」と答えた方にお伺いします。>

【問 13-2】 設置していない理由を次の中から **1 つ**お答えください。 (N=626)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 設置期限がまだだから | 35.9 (225) |
| 2. 様子を見ている | 41.2 (258) |
| 3. どこで販売しているかわからない | 5.6 (35) |
| 4. その他 () | 17.3 (108) |

【問 14】 あなたは、お住いの地域の防災訓練に参加したことがありますか。

- | | |
|----------------------------------|-------------------|
| 1. 機会あるたびにいつも参加している | 15.8 (235) |
| 2. 参加する意思はあるが、忙しくなかなか参加できない | 24.6 (365) |
| 3. 防災訓練は行われているが参加したことがない | 25.1 (372) |
| 4. 防災訓練がいつ行われているか知らないので参加したことはない | 27.2 (404) |
| 5. 興味もなく、必要性を感じない | 2.6 (39) |
| * 無回答 | 4.6 (69) |

【問 14-1】 あなたがお住いの地域で行われている防災訓練は、防災組織（自主防災組織）でおこなっております。その活動はご存知ですか。

※「自主防災組織」とは、地域の皆さんが自然災害などから「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚、連帯感に基づき自主的に結成する組織で、町内会や自治会組織と並列で設置・運営されています。

- | | |
|----------|-------------------|
| 1. 知っている | 46.1 (684) |
| 2. 知らない | 43.5 (645) |
| * 無回答 | 10.4 (155) |

【危機管理】

【問 15】 市では、危機事態に対応するため、以下の計画を策定しておりますがご存知でしたか。あてはまると思う番号に○印をお願いします。

| | 1. 知っている | 2. 知らない | 無回答 |
|---------------------|-------------|-------------|------------|
| ア 地域防災計画（自然災害等） | 39.4 | 55.8 | 4.9 |
| イ 国民保護計画（武力攻撃事態等） | 6.5 | 87.7 | 5.9 |
| ウ 危機管理計画（上記以外の危機事態） | 7.5 | 86.5 | 6.1 |

【問 16】 あなたは、大規模災害に対する備えを何か準備していますか。次の中から該当するものを**すべて**お答えください。

| | |
|-----------------------|------------|
| 1. 飲料水 | 50.1 (744) |
| 2. 食糧 | 41.0 (609) |
| 3. 常備薬等 | 35.5 (527) |
| 4. 家族との連絡方法・集合場所の確認 | 31.6 (469) |
| 5. 防災グッズ（懐中電灯・ラジオ等） | 58.8 (872) |
| 6. 家の耐震補強（家具等の転倒防止含む） | 24.2 (359) |
| 7. 消火器 | 36.5 (541) |
| 8. その他（ ） | 1.8 (27) |
| 9. 特に準備していない | 23.0 (342) |
| * 無回答 | 3.4 (51) |

【問 17】 市では、武力攻撃事態等に J-ALERT（全国瞬時警報システム）により、防災行政無線を使用してサイレン等により市民へ広報をおこなうことをご存知ですか。

| | |
|----------|------------|
| 1. 知っている | 30.6 (454) |
| 2. 知らない | 66.2 (983) |
| * 無回答 | 3.2 (47) |

【健康】

【問 18】 インフルエンザが身近で発生した場合に備えて、あなたが日頃心がけていることを、次の中から**すべて**お答えください。

| | |
|-----------------------|-------------|
| 1. マスクの着用 | 55.1 (817) |
| 2. 手洗い、うがい | 92.7 (1376) |
| 3. 公共交通機関、集会等の人混みを避ける | 46.6 (692) |
| 4. 食料や生活必需品の備蓄 | 21.2 (315) |
| * 無回答 | 4.1 (61) |

【問 18-1】 新型インフルエンザにかかった場合、直接、医療機関に行かず、発熱相談センターに電話することをご存知ですか。

| | |
|----------|-------------|
| 1. 知っている | 88.3 (1310) |
| 2. 知らない | 8.8 (131) |
| * 無回答 | 2.9 (43) |

【少子化対策】

【問 19】 あなたが海老名市の少子化対策として取り組んで欲しいものを、次の中から**3つ**お答えください。

| | |
|----------------------------------|------------|
| 1. 子育て世代に対する雇用環境の整備 | 41.3 (613) |
| 2. 妊娠・出産をサポートする母子保健施策の充実 | 35.2 (522) |
| 3. 子育てサービスの充実 | 31.5 (467) |
| 4. 出産、子育てに関する地域情報の提供、情報ネットワークの整備 | 11.5 (171) |
| 5. 子育てしやすい安全な生活環境・公園整備等の推進 | 29.1 (432) |
| 6. 小児医療の充実 | 40.2 (597) |
| 7. 子育ての経済的支援 | 50.3 (747) |
| 8. 育児不安に対する相談機能の充実 | 13.9 (207) |
| 9. 男女共同参画に係わる広報、啓発活動の充実 | 4.0 (60) |
| 10. その他 () | 4.4 (66) |
| * 無回答 | 7.5 (112) |

【環境・資源対策】

【問 20】 地球温暖化の問題は、身近で深刻な環境問題といえます。私たちの日常生活もその原因となっていますが、環境を保全するため、日常生活でどのようなことを心がけていますか。あてはまると思う**番号に○印**をお願いします。

| | 行 つ て い る | 行 つ て い る と き ど き | い 行 つ て い な | 無 回 答 |
|--|-----------------------|---|----------------------------|-------------|
| ア. 不要な電化製品のスイッチは、こまめに切っている | 63.7 | 29.4 | 3.3 | 3.6 |
| イ. 冷暖房の適正な温度設定（暖房20℃、冷房28℃）をしている | 53.3 | 31.0 | 11.9 | 3.8 |
| ウ. 節水を心がけている | 59.4 | 30.9 | 5.5 | 4.3 |
| エ. 買い物に行くときは買い物袋を持参している | 35.6 | 36.3 | 23.7 | 4.4 |
| オ. 車の使用をできるだけ控え、不要なアイドリングをしないように心がけている | 39.7 | 32.9 | 17.7 | 9.7 |
| カ. 太陽光発電や太陽熱の利用をしている | 4.8 | 2.3 | 87.7 | 5.3 |
| キ. 日用品は環境にやさしい商品を購入している | 18.6 | 54.2 | 22.4 | 4.8 |

その他(実践していることがありましたらご記入ください)

【問 21】 市では、廃棄物の発生抑制を推進するため、簡易包装やレジ袋の削減及びマイバック持参を呼びかけています。あなたは、買い物の際にレジ袋をもらいますか。

- | | |
|---------------------|------------|
| 1. 毎回もらう | 25.7 (381) |
| 2. 時々もらい、マイバックも使う | 57.2 (849) |
| 3. 断ってマイバックを使う | 9.8 (146) |
| 4. 特典（ポイントなど）があれば断る | 2.7 (40) |
| 5. その他（ ） | 1.3 (20) |
| * 無回答 | 3.2 (48) |

【問 22】 レジ袋が有料（仮に5円）になった場合どうしますか。

- | | |
|-------------------------|-------------|
| 1. レジ袋を買う | 12.0 (178) |
| 2. マイバックを持つなどしてレジ袋を買わない | 74.7 (1109) |
| 3. レジ袋が無料な店へ行く | 6.2 (92) |
| 4. その他（ ） | 3.6 (54) |
| * 無回答 | 3.4 (51) |

【問 23】 マイバックについてどう思いますか。次の中から**1つ**お答えください。

- | | |
|---------------------------|------------|
| 1. ごみ減量や環境を考えてもっと普及すべき | 34.4 (510) |
| 2. お店で特典（ポイントなど）を充実してほしい | 16.8 (250) |
| 3. 大した環境効果が得られるとは思わない | 5.4 (80) |
| 4. 持っていく習慣がない、持ち歩くのが面倒 | 4.0 (59) |
| 5. レジ袋をくれるからマイバックを持たない | 3.6 (54) |
| 6. レジ袋はごみ袋などとして利用しているので必要 | 28.0 (416) |
| 7. レジ袋は当然のサービスだと思う | 0.7 (10) |
| 8. その他（ ） | 3.3 (49) |
| * 無回答 | 3.8 (56) |

【問 24】 自動車等から排出される温室効果ガス削減のため、どのような取り組みがもっとも有効であると思いますか。次の中から**1つ**お答えください。

- | | |
|--------------------|------------|
| 1. 電動自転車の普及 | 14.8 (219) |
| 2. 自転車レンタル制度の導入 | 4.8 (71) |
| 3. 電気自動車等低公害自動車の活用 | 36.4 (540) |
| 4. 公共交通機関の充実 | 34.3 (509) |
| 5. その他（ ） | 4.3 (64) |
| * 無回答 | 5.5 (81) |

【まちづくり】

【問 25】 まちの発展と地域経済の活性化として、どのような取り組みが大切であると思いますか。次の中から**2つ**お答えください。

- | | |
|-----------------------------|------------|
| 1. 雇用促進や税収増につながる企業の誘致 | 46.2 (686) |
| 2. 魅力的な商店・商業施設などの立地の促進 | 45.3 (672) |
| 3. 市内で起業しようとする人への支援 | 12.5 (186) |
| 4. 名産品や特産品づくりなど、魅力ある地場製品の開発 | 35.1 (521) |
| 5. 商店の魅力や向上、駐車場の整備など商業の振興 | 24.8 (368) |
| 6. 地元の企業や商店への支援 | 19.7 (293) |
| 7. その他 () | 3.2 (48) |
| * 無回答 | 5.0 (74) |

【学校教育・家庭教育】

【問 26】 あなたが小中学校の教育に期待することを、次の中から**2つ**お答えください。

- | | |
|------------------------|------------|
| 1. 基礎的な学力を身につけること | 52.5 (779) |
| 2. 生活習慣やあいさつなどを身につけること | 37.1 (550) |
| 3. 集団生活の中で社会性を育むこと | 57.7 (856) |
| 4. やさしさや思いやりなどの心を育むこと | 40.0 (594) |
| 5. その他 () | 2.9 (43) |
| * 無回答 | 4.0 (60) |

【問 27】 あなたが家庭の教育で大事だと思うことを、次の中から**2つ**お答えください。

- | | |
|----------------------------------|-------------|
| 1. 早寝早起きや食事など基本的な生活習慣を身につけること | 63.2 (938) |
| 2. あいさつや人に迷惑をかけないなどしつけを徹底すること | 86.7 (1287) |
| 3. 子どもの勉強やスポーツなどの活動を積極的に支援すること | 20.4 (302) |
| 4. 地域活動などに参加して地域とのかかわりの中で子育てすること | 24.0 (356) |
| 5. その他 () | 2.0 (30) |
| * 無回答 | 1.2 (18) |

【文化】

【問 28】 あなたは海老名市の文化芸術を振興するために、どのようなことをすればよいと思いますか。次の中から**2つ**お答えください。

- | | |
|-------------------------|------------|
| 1. 青少年が文化芸術に親しむ機会の拡大 | 45.7 (678) |
| 2. 一流の音楽会や展覧会などの鑑賞機会の拡大 | 36.0 (534) |
| 3. 文化芸術に関する情報提供 | 19.5 (290) |
| 4. 文化芸術活動ができる施設整備 | 24.9 (369) |
| 5. 文化財や伝統芸能などの保存・継承 | 20.6 (306) |
| 6. 市民の文化芸術活動に対する支援 | 21.9 (325) |
| 7. 芸術家、アーティストの育成・支援 | 14.2 (210) |
| * 無回答 | 4.3 (64) |

【問 29】 あなたは、「海老名市の文化」において、どのようなイメージをお持ちですか。次の中から**2つ**お答えください。

- | | |
|------------------|-------------|
| 1. 歴史や伝統がある | 30.0 (445) |
| 2. 都会と田舎が共存している | 68.9 (1022) |
| 3. これから創造していくもの | 42.1 (625) |
| 4. 市民の文化活動が盛んである | 11.1 (164) |
| 5. 文化イベントが少ない | 35.6 (528) |
| * 無回答 | 3.4 (50) |

Ⅲ. 調査結果の分析

1. 調査回答者の特性（地域別）

調査回答者の特性を地域毎に分析し、その結果を地域間で比較した。表中の「市全体の回答数」の列と「全体」の行で「市全体の回答率」以外の単位は人数表示、その他は％表示となっている。

- ◎ 性別での割合は、全体で男性47.0％、女性52.4％
- ◎ 年代別では、30歳代19.5％で最も高く、次に65～74歳19.3％、50歳代17.3％となっている。
地域別では、18～24歳は社家地域、25～29歳は海西地域、30歳代は国分地域、40歳代は上郷・下今泉地域、50歳代は本郷地域、60～64歳は本郷地域、65～74歳は大谷地域、75歳以上は本郷地域がそれぞれ最も高い。
- ◎ 居住年数別では、20年以上42.0％が最も高く、10年以上20年未満19.2％、5年以上10年未満12％と続いている。
地域別では、1年未満が社家地域、1年以上5年未満が国分地域、5年以上10年未満では柏ヶ谷地域、10年以上20年未満では杉久保地域、20年以上では大谷地域、生まれてからずっとでは本郷地域が最も高くなっている。
- ◎ 職業別では、回答者全体の割合で見ると、専業主婦・主夫22％が最も高く、技能・技術職17.7％、無職14.3％、アルバイト・パート12.9％と続く。
専業主婦・主夫は、本郷地域31％、技能・技術職は上郷・下今泉地域22.4％、無職は門沢橋地域20.3％とそれぞれ最も高くなっている。
- ◎ 通勤・通学場所では、回答者全体の割合では海老名市内と近隣市町を合わせると55.4％を占める。また、神奈川県内は80.8％、東京都内は16.7％で、8割が神奈川県内に通勤・通学している。
海老名市内と近隣市町への通勤・通学率は、上郷・下今泉地域73.6％が最も高く、社家地域65.4％、杉久保地域64.1％となっている。
- ◎ 家族の形態別では、回答者全体の割合で見ると、単身8.9％、夫婦のみ25.8％、二世帯54.5％、三世帯7.2％、その他2.4％となっている。
単身は、杉久保地域11.7％、夫婦のみは国分地域28.1％、二世帯は上郷・下今泉地域62.7％、三世帯は本郷地域23.8％で、それぞれ最も高い。

1. 調査回答者の特性（地域別）－性別、年代、性別・年代別

| | | 市全体の回答数 | 市全体の回答率 | 柏ヶ谷地域 | 上今泉地域 | 上郷・下今泉地域 | 国分地域 | 海西地域 | 大谷地域 | 杉久保地域 | 本郷地域 | 社家地域 | 門沢橋地域 | 無回答 |
|----|--------|---------|---------|-------|-------|----------|------|------|------|-------|------|------|-------|-------|
| 全体 | | 1484 | 100.0 | 226 | 162 | 67 | 299 | 224 | 208 | 103 | 42 | 69 | 74 | 10 |
| 性別 | 男性 | 698 | 47.0 | 44.7 | 49.4 | 44.8 | 47.5 | 50.4 | 44.7 | 39.8 | 52.4 | 56.5 | 43.2 | 0.0 |
| | 女性 | 778 | 52.4 | 54.9 | 50.6 | 52.2 | 52.5 | 49.6 | 55.3 | 59.2 | 47.6 | 43.5 | 56.8 | 0.0 |
| | 無回答 | 8 | 0.5 | 0.4 | 0.0 | 3.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 |
| 年代 | 18～24歳 | 83 | 5.6 | 4.4 | 8.6 | 1.5 | 5.7 | 3.6 | 4.8 | 8.7 | 2.4 | 13.0 | 4.1 | 0.0 |
| | 25～29歳 | 84 | 5.7 | 5.3 | 4.3 | 9.0 | 5.7 | 9.4 | 5.3 | 6.8 | 2.4 | 1.4 | 1.4 | 0.0 |
| | 30～39歳 | 289 | 19.5 | 21.2 | 16.0 | 22.4 | 25.8 | 20.5 | 13.9 | 15.5 | 19.0 | 20.3 | 12.2 | 0.0 |
| | 40～49歳 | 246 | 16.6 | 15.5 | 17.9 | 20.9 | 18.1 | 17.0 | 14.9 | 15.5 | 4.8 | 15.9 | 20.3 | 0.0 |
| | 50～59歳 | 256 | 17.3 | 16.4 | 11.1 | 22.4 | 12.7 | 20.5 | 17.3 | 22.3 | 28.6 | 18.8 | 21.6 | 0.0 |
| | 60～64歳 | 173 | 11.7 | 10.6 | 13.6 | 7.5 | 10.7 | 12.5 | 13.5 | 11.7 | 14.3 | 7.2 | 13.5 | 0.0 |
| | 65～74歳 | 287 | 19.3 | 22.6 | 23.5 | 11.9 | 18.7 | 14.7 | 24.5 | 10.7 | 19.0 | 18.8 | 24.3 | 0.0 |
| | 75歳以上 | 62 | 4.2 | 4.0 | 4.9 | 4.5 | 2.7 | 1.8 | 5.8 | 8.7 | 9.5 | 4.3 | 2.7 | 0.0 |
| | 無回答 | 4 | 0.3 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 100.0 |
| 男性 | 18～24歳 | 32 | 2.2 | 0.9 | 3.7 | 0.0 | 2.0 | 2.2 | 1.9 | 3.9 | 0.0 | 5.8 | 0.0 | 0.0 |
| | 25～29歳 | 44 | 3.0 | 2.7 | 1.9 | 4.5 | 3.0 | 4.5 | 3.8 | 3.9 | 0.0 | 0.0 | 1.4 | 0.0 |
| | 30～39歳 | 122 | 8.2 | 7.5 | 8.6 | 6.0 | 11.0 | 8.9 | 4.8 | 6.8 | 7.1 | 15.9 | 2.7 | 0.0 |
| | 40～49歳 | 99 | 6.7 | 5.8 | 8.0 | 9.0 | 9.0 | 6.7 | 3.8 | 1.9 | 4.8 | 5.8 | 10.8 | 0.0 |
| | 50～59歳 | 130 | 8.8 | 10.2 | 4.3 | 11.9 | 6.0 | 11.6 | 9.1 | 9.7 | 14.3 | 8.7 | 8.1 | 0.0 |
| | 60～64歳 | 81 | 5.5 | 6.2 | 4.9 | 4.5 | 4.3 | 7.6 | 5.3 | 5.8 | 11.9 | 0.0 | 4.1 | 0.0 |
| | 65～74歳 | 152 | 10.2 | 8.4 | 14.8 | 6.0 | 10.7 | 7.1 | 13.5 | 4.9 | 7.1 | 15.9 | 13.5 | 0.0 |
| | 75歳以上 | 38 | 2.6 | 3.1 | 3.1 | 3.0 | 1.3 | 1.8 | 2.4 | 2.9 | 7.1 | 4.3 | 2.7 | 0.0 |
| | 無回答 | | | | | | | | | | | | | |
| 女性 | 18～24歳 | 51 | 3.4 | 3.5 | 4.9 | 1.5 | 3.7 | 1.3 | 2.9 | 4.9 | 2.4 | 7.2 | 4.1 | 0.0 |
| | 25～29歳 | 40 | 2.7 | 2.7 | 2.5 | 4.5 | 2.7 | 4.9 | 1.4 | 2.9 | 2.4 | 1.4 | 0.0 | 0.0 |
| | 30～39歳 | 166 | 11.2 | 13.7 | 7.4 | 14.9 | 14.7 | 11.6 | 9.1 | 8.7 | 11.9 | 4.3 | 9.5 | 0.0 |
| | 40～49歳 | 146 | 9.8 | 9.7 | 9.9 | 11.9 | 9.0 | 10.3 | 11.1 | 12.6 | 0.0 | 10.1 | 9.5 | 0.0 |
| | 50～59歳 | 126 | 8.5 | 6.2 | 6.8 | 10.4 | 6.7 | 8.9 | 8.2 | 12.6 | 14.3 | 10.1 | 13.5 | 0.0 |
| | 60～64歳 | 92 | 6.2 | 4.4 | 8.6 | 3.0 | 6.4 | 4.9 | 8.2 | 5.8 | 2.4 | 7.2 | 9.5 | 0.0 |
| | 65～74歳 | 133 | 9.0 | 13.7 | 8.6 | 4.5 | 8.0 | 7.6 | 11.1 | 5.8 | 11.9 | 2.9 | 10.8 | 0.0 |
| | 75歳以上 | 24 | 1.6 | 0.9 | 1.9 | 1.5 | 1.3 | 0.0 | 3.4 | 5.8 | 2.4 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 無回答 | 8 | 0.5 | 0.4 | 0.0 | 3.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 1.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |

調査回答者の特性（地域別）－居住年数、職業、通勤・通学場所、家族構成

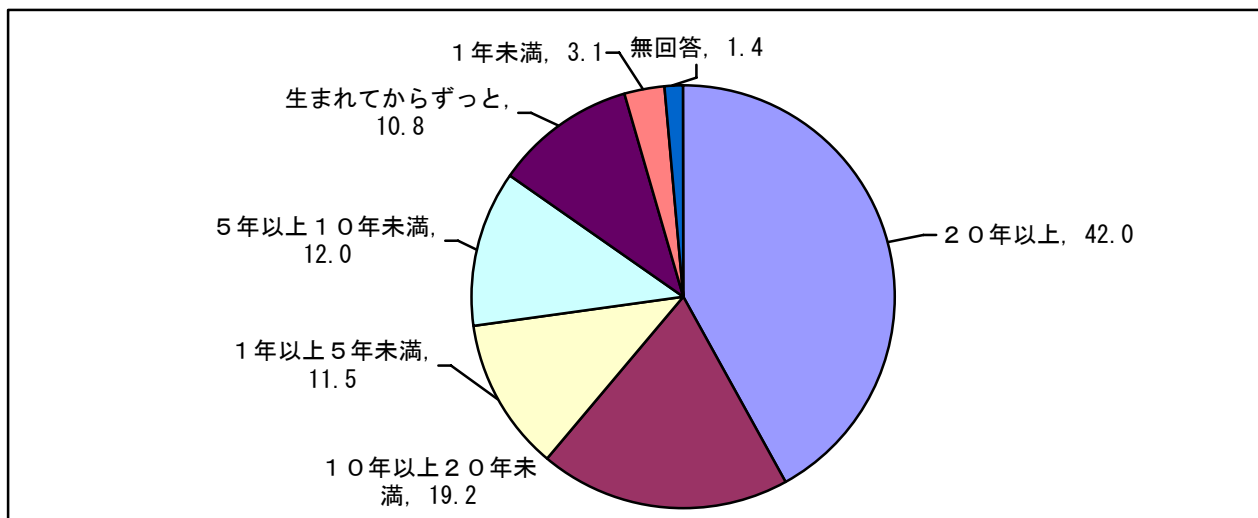
| | | 市全体の回答数 | 市全体の回答率 | 柏ヶ谷地域 | 上今泉地域 | 上郷・下今泉地域 | 国分地域 | 海西地域 | 大谷地域 | 杉久保地域 | 本郷地域 | 社家地域 | 門沢橋地域 | 無回答 |
|---------|------------|---------|---------|-------|-------|----------|------|------|------|-------|------|------|-------|-------|
| 合計 | | 1484 | 100.0 | 226 | 162 | 67 | 299 | 224 | 208 | 103 | 42 | 69 | 74 | 10 |
| 居住年数 | 1年未満 | 46 | 3.1 | 4.0 | 1.9 | 3.0 | 4.3 | 3.6 | 1.4 | 1.0 | 0.0 | 7.2 | 2.7 | 0.0 |
| | 1年以上5年未満 | 170 | 11.5 | 13.7 | 9.9 | 17.9 | 18.1 | 11.2 | 5.3 | 5.8 | 4.8 | 8.7 | 9.5 | 0.0 |
| | 5年以上10年未満 | 178 | 12.0 | 19.5 | 11.1 | 7.5 | 17.1 | 11.2 | 5.8 | 7.8 | 11.9 | 4.3 | 6.8 | 0.0 |
| | 10年以上20年未満 | 285 | 19.2 | 20.8 | 21.6 | 23.9 | 17.4 | 16.5 | 13.9 | 28.2 | 4.8 | 26.1 | 24.3 | 0.0 |
| | 20年以上 | 624 | 42.0 | 35.8 | 47.5 | 34.3 | 33.8 | 39.3 | 61.1 | 47.6 | 50.0 | 33.3 | 44.6 | 0.0 |
| | 生まれてからずっと | 160 | 10.8 | 4.4 | 6.2 | 13.4 | 8.4 | 17.4 | 12.0 | 9.7 | 28.6 | 17.4 | 9.5 | 0.0 |
| | 無回答 | 21 | 1.4 | 1.8 | 1.9 | 0.0 | 1.0 | 0.9 | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 2.9 | 2.7 | 100.0 |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| 職業 | 農林漁業自営等 | 16 | 1.1 | 0.4 | 1.2 | 0.0 | 0.3 | 0.9 | 1.9 | 1.0 | 7.1 | 2.9 | 0.0 | 0.0 |
| | 商工サービス業自営等 | 46 | 3.1 | 2.7 | 1.2 | 0.0 | 2.7 | 3.1 | 2.9 | 5.8 | 7.1 | 8.7 | 2.7 | 0.0 |
| | 自由業 | 18 | 1.2 | 0.9 | 1.2 | 3.0 | 1.3 | 1.8 | 1.9 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | 事務職 | 169 | 11.4 | 13.3 | 8.0 | 3.0 | 11.4 | 12.5 | 14.9 | 7.8 | 4.8 | 17.4 | 9.5 | 0.0 |
| | 技能・技術職 | 262 | 17.7 | 17.7 | 14.8 | 22.4 | 21.4 | 17.9 | 16.3 | 13.6 | 21.4 | 17.4 | 12.2 | 0.0 |
| | 販売・サービス職 | 137 | 9.2 | 10.6 | 11.1 | 7.5 | 9.7 | 9.4 | 7.2 | 10.7 | 2.4 | 8.7 | 9.5 | 0.0 |
| | アルバイト等 | 191 | 12.9 | 10.6 | 13.6 | 20.9 | 13.0 | 12.1 | 9.6 | 19.4 | 9.5 | 17.4 | 12.2 | 0.0 |
| | 学生 | 40 | 2.7 | 2.2 | 4.3 | 0.0 | 2.7 | 2.7 | 1.4 | 3.9 | 0.0 | 7.2 | 1.4 | 0.0 |
| | 専業主婦・主夫 | 327 | 22.0 | 24.8 | 19.8 | 26.9 | 19.7 | 23.2 | 24.5 | 20.4 | 31.0 | 7.2 | 27.0 | 0.0 |
| | 無職 | 212 | 14.3 | 11.1 | 19.1 | 14.9 | 15.1 | 12.1 | 15.4 | 14.6 | 9.5 | 11.6 | 20.3 | 0.0 |
| | その他 | 48 | 3.2 | 4.4 | 5.6 | 1.5 | 2.0 | 3.6 | 3.4 | 1.0 | 7.1 | 1.4 | 2.7 | 0.0 |
| | 無回答 | 18 | 1.2 | 1.3 | 0.0 | 0.0 | 0.7 | 0.9 | 0.5 | 1.9 | 0.0 | 0.0 | 2.7 | 100.0 |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| 通勤・通学場所 | 海老名市内 | 261 | 29.7 | 22.0 | 22.2 | 36.8 | 30.5 | 33.3 | 23.1 | 39.1 | 45.5 | 43.6 | 28.6 | 0.0 |
| | 近隣市町 | 226 | 25.7 | 34.8 | 22.2 | 36.8 | 21.9 | 22.2 | 27.4 | 25.0 | 13.6 | 21.8 | 31.4 | 0.0 |
| | 横浜市・川崎市 | 136 | 15.5 | 18.9 | 21.1 | 13.2 | 16.6 | 14.8 | 16.2 | 10.9 | 9.1 | 9.1 | 8.6 | 0.0 |
| | その他神奈川県内 | 86 | 9.8 | 8.3 | 6.7 | 0.0 | 11.2 | 8.1 | 12.8 | 6.3 | 22.7 | 9.1 | 22.9 | 0.0 |
| | 東京23区 | 126 | 14.3 | 12.9 | 22.2 | 7.9 | 13.9 | 15.6 | 16.2 | 14.1 | 9.1 | 9.1 | 5.7 | 0.0 |
| | 都内市町村 | 21 | 2.4 | 1.5 | 4.4 | 0.0 | 3.7 | 4.4 | 0.9 | 1.6 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| | その他 | 13 | 1.5 | 1.5 | 1.1 | 5.3 | 1.6 | 0.0 | 1.7 | 1.6 | 0.0 | 3.6 | 0.0 | 0.0 |
| | 無回答 | 10 | 1.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.5 | 1.5 | 1.7 | 1.6 | 0.0 | 3.6 | 2.9 | 0.0 |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| 家族構成 | 単身世帯 | 132 | 8.9 | 10.2 | 8.6 | 7.5 | 9.7 | 8.5 | 7.2 | 11.7 | 7.1 | 7.2 | 9.5 | 0.0 |
| | 夫婦のみ | 383 | 25.8 | 27.4 | 27.8 | 22.4 | 28.1 | 24.6 | 27.4 | 23.3 | 16.7 | 18.8 | 27.0 | 0.0 |
| | 二世代世帯 | 809 | 54.5 | 52.7 | 54.9 | 62.7 | 53.5 | 58.0 | 52.9 | 54.4 | 50.0 | 50.7 | 55.4 | 0.0 |
| | 三世代世帯 | 107 | 7.2 | 5.8 | 5.6 | 4.5 | 5.7 | 4.5 | 10.1 | 5.8 | 23.8 | 18.8 | 6.8 | 0.0 |
| | その他 | 35 | 2.4 | 2.2 | 1.2 | 3.0 | 2.7 | 2.7 | 1.9 | 4.9 | 2.4 | 2.9 | 0.0 | 0.0 |
| | 無回答 | 18 | 1.2 | 1.8 | 1.9 | 0.0 | 0.3 | 1.8 | 0.5 | 0.0 | 0.0 | 1.4 | 1.4 | 100.0 |

2「定住性・生活環境」

(1) 居住年数

「20年以上」と「生まれてからずっと」で5割超

問6 あなたは、海老名に住んで何年になりますか。(1つ選択)



海老名市での居住年数は、「20年以上」42.0%が最も高く、続いて「10年以上20年未満」19.2%、「1年以上5年未満」11.5%、「5年以上10年未満」12.0%、「生まれてからずっと」10.8%、「1年未満」3.1%となっている。

また、「20年以上」、「生まれてからずっと」を合わせると52.8%となり、前回の52.2%とほぼ同様である。平成15、17、19、21年度の調査結果の推移は、52.6%→52.8%→52.2%→52.8%となっている。

短期居住者は30代で5割強、長期居住者は60歳以上で7割超

年代別では、「1年未満」、「1年以上5年未満」、「5年以上10年未満」と回答した短期居住者は、18～24歳22.8%、25～29歳48.8%、30歳代58.1%、40歳代35.3%、50歳代15.3%であり、60歳代以上では全て10%以下となっている。前回の調査との比較で見ると、75歳以上は今回9.6%であり、前回の0%から大幅に増える結果となった。また、設定年齢は異なるが、最若年層である18歳～24歳も前回の結果と比べると増加している。

また、長期居住者（「20年以上」「生まれてからずっと」の回答者）は、18歳～24歳41.0%、25～29歳39.3%、30歳代28.7%、40歳代26.8%、50歳代58.2%であり、60歳以上では60歳～64歳78.1%、65歳～74歳83.0%、75歳以上74.2%で、前回の調査と比較すると75歳以上の長期居住者が減る結果となった。

短期居住者の多い国分地域、柏ヶ谷地域、長期居住者は本郷地域、大谷地域

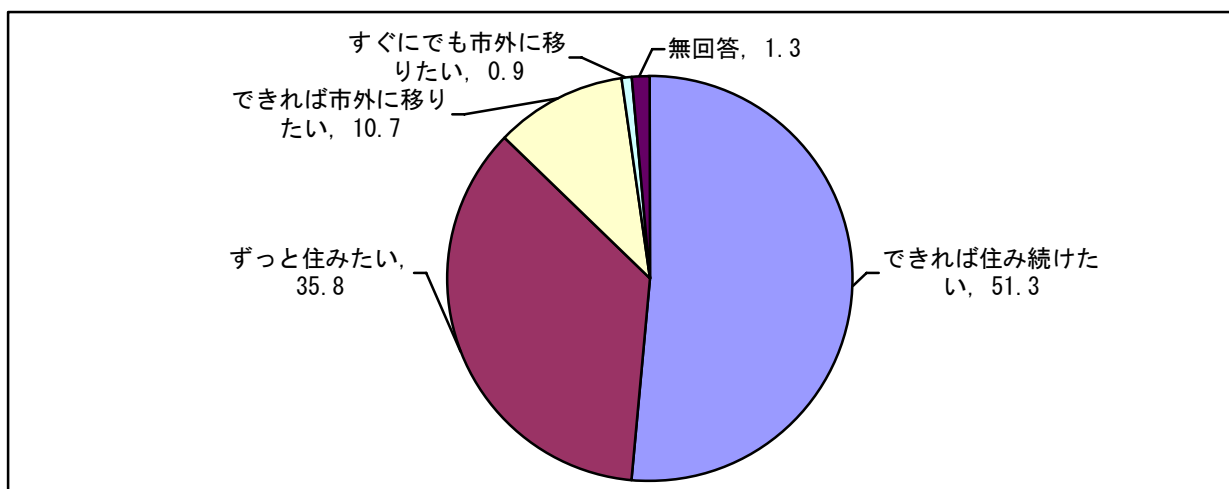
地域別で見ると、短期居住者は国分地域39.5%が最も高く、次に柏ヶ谷地域37.2%、上郷・下今泉地域28.4%と続く。

長期居住者は本郷地域78.6%が最も高く、大谷地域73.1%、杉久保地域57.3%と続く。

(2) 定住意向・転出意向

「ずっと住みたい」と「できれば住み続けたい」とで8割強

問7 あなたは、これからも海老名市に住みたいと思いますか。



海老名市への定住意向は、「ずっと住みたい」、「できれば住み続けたい」を合わせると87.1%となり、8割以上の方がこれからも海老名市に住みたい意向を持っている一方、市外に移りたいという意向を持っているのは11.6%となっている。

平成15、17、19、21年度の調査結果の推移は、定住意向の割合は82.8%→84.4%→83.9%→87.1%と高い水準を維持している。逆に転出意向の割合は15.8%→14.8%→14.5%→11.6%となっており、減少傾向にあるといえる。このことから、住みたい住み続けたいまちプロジェクトの着実な進展が図られていることが言える。

50歳代以降で高くなる定住意向

定住意向について年代別では、どの年代でも高い数値を示しているが、中でも40歳代以上においては85%～90%台の高い数値となっている。この中で「ずっと住みたい」は年齢が高くなるに従い比率が高まっていく。逆に「できれば住み続けたい」は、年齢が低くなるに従い割合が高くなっている。

他方、転出意向について見ると、年齢が低くなるほど数値が高くなっており、18歳～24歳、25歳～29歳では20%を超えている。「できれば市外に移りたい」は18～24歳で18.1%、25～29歳で19.0%、30歳代で16.3%、40歳代で11.4%、50歳代で10.5%、60歳代以上は10%以下となっている。「すぐにでも市外に移りたい」はどの年齢層とも3%内である。

地域別で見ると、定住意向で最も高い地域は大谷地域と杉久保地域の92.3%で、海西地域91.9%と続き、他の地域も高い割合となっている。また、転出意向は柏ヶ谷地域18.6%が最も高くなっている。

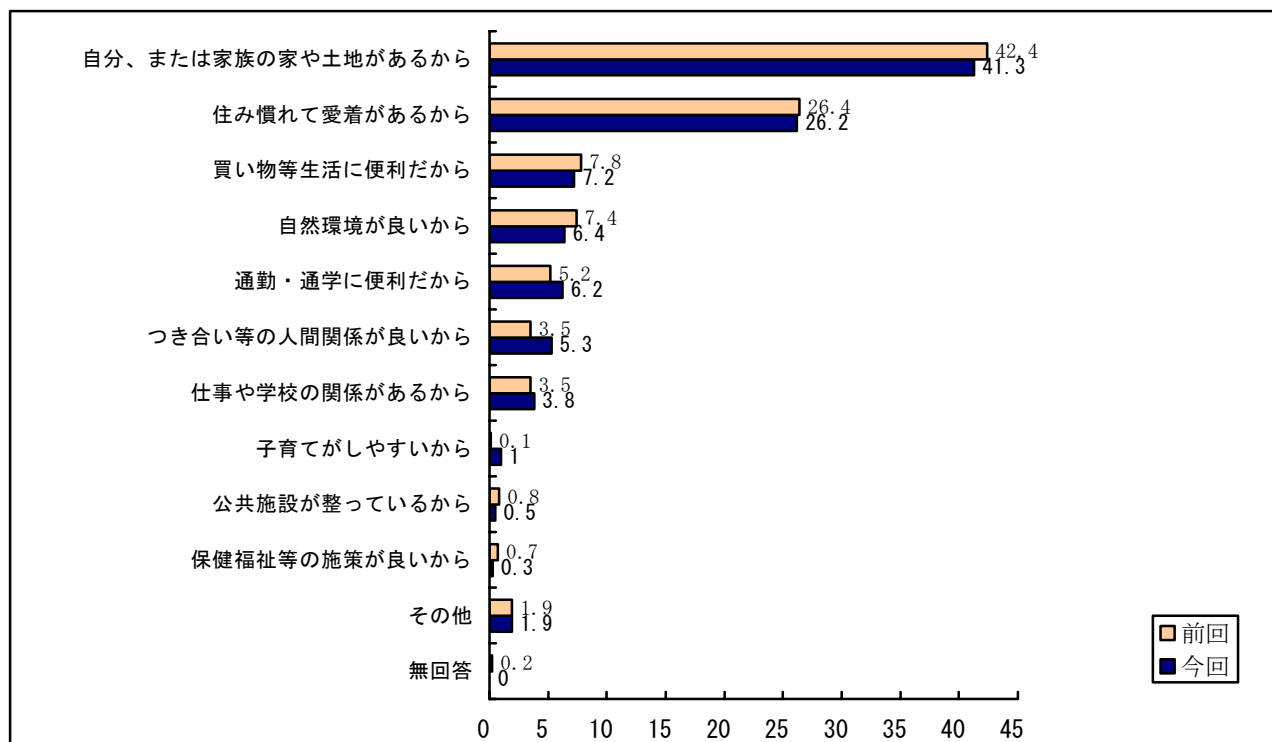
居住年数別で見ると、定住意向では生まれてからずっとが91.3%が最も高く、20年以上89.9%が続いている。また、転出意向については1年未満が21.8%で最も高い。

(3) 市内に住みたい理由

「家や土地がある」と「住み慣れて愛着がある」とで7割弱

問 7-1 市内に住みたいのはなぜですか。(1つ選択)

(N = 1, 292)



市内に住みたい理由は、「自分、または家族の家や土地があるから」41.3%と最も高く、続いて「住み慣れて愛着があるから」26.2%、「買い物等生活に便利だから」7.2%となっており、上位2つは17、19年度の調査でも同一で、この2つを合わせると7割近くを占めている。また、「子育てがしやすいから」は、前回0%から今回0.1%に増えていることから、子育て支援事業の進展が図られていることが言える。

性別では、女性は1位から3位までが調査全体の結果と同じであるが、男性では1、2位は同じだが、3位は「通勤・通学に便利だから」となっている。

年代別では、「買い物等生活に便利」は25歳～29歳、60歳～64歳が10%を超え、他の年代に比べ高い結果となっている。

調査全体の結果上位2項目の合計を地域別で比較すると、本郷地域84.2%で最も高く、続いて門沢橋地域82.5%、大谷地域75%となっている。

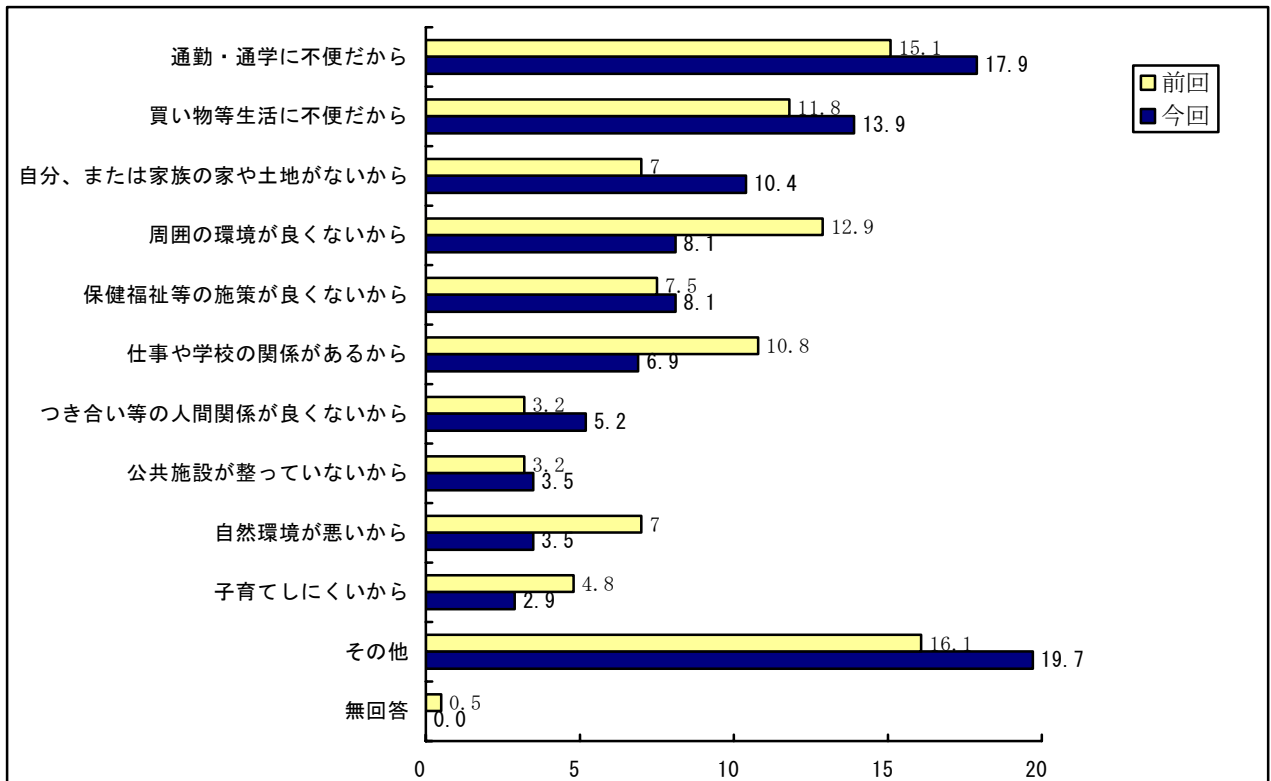
居住年数別では、「自分、または家族の家や土地があるから」は居住年数が長くなるに従い割合が高くなっている。また、1年以上5年未満33.3%とまだ居住年数が短い層でも比較的高い数字となっている。

(4) 市外に移りたい理由

「通勤・通学に不便」と「買い物等生活に不便だから」が上位

問7-2 市外に移りたいのはなぜですか。(1つ選択)

(N = 173)



市外へ移りたい理由としては、「通勤・通学に不便だから」17.9%が最も高く、「買い物等生活に不便だから」13.9%、「自分、または家族の家や土地がないから」10.4%と続いている。過去の調査と比べると、「自分、または家族の家や土地がないから」の数値と順位が高くなってきている。

性別で見ると、男性は「通勤・通学に不便だから」、「仕事や学校の間があるから」の2つで29.5%を占めており、女性は「買い物等生活に不便だから」が最も高く、続いて「通勤・通学に不便だから」となっている。

年代別で見ると、18～24歳は「仕事や学校の間があるから」50.0%が非常に高く、「通勤・通学に不便だから」25.0%と合わせると7割以上を占めている。「通勤・通学に不便だから」は25歳以上でも高く、50歳代までは1位であった。また、65歳～74歳では「買い物等生活に不便だから」が1位となっている。

地域別では、「通勤・通学に不便だから」は、上今泉地域、本郷地域が50.0%で最も高く、続いて門沢橋地域であった。

居住年数では、調査全体で1位の「通勤・通学に不便だから」は、ほぼ全ての区分で3位以内となっている。

(5) 生活環境と施策の満足度

問8 あなたの住まいの周囲の生活環境や施策の状況等で、ア～ニの各項目について、あてはまると思うものをお選びください。
(項目ごとに1つ選択)

◎満足度の高い項目(満足とやや満足を合わせた順位)

「ごみ処理と資源回収」、「買い物等の生活の便利さ」など3項目が7割台～6割台

満足度の高い項目の1位は去年同様「ごみ処理と資源回収」70.0%、2位「交通機関へのアクセス」61.0%、3位「買い物等の生活の便利さ」60.8%、4位「樹林地や田園等の緑と自然環境」54.4%、5位「下水道・排水処理」53.2となっている。前回調査時この5項目が上位5位を占めていた。

1位の「ごみ処理と資源回収」は年代別では、60～64歳、65～74歳で70%台、75歳以上では80%台、特に女性の75歳以上では87.5%という高い割合を示している。地域別では上今泉地域、杉久保地域、柏ヶ谷地域、大谷地域が70%台に対し、社家地域が50%台とやや低めとなっている点が特徴的となっている。また、社家地域は前回調査時60%台であったので、満足度が下がっていることになる。居住年数では1年以上5年未満、5年以上10年未満、20年以上が70%台となっている。

2位の「買い物等の生活の便利さ」は性別では男女ともに約60%程度だが、性別・年代別で見ると、25～29歳では男性56.9%に対し女性70.0%と女性の方が高い割合を示している。地域別では国分地域、大谷地域では70%台だが、社家地域、門沢橋地域、上郷・下今泉地域は30%台となっている。

3位の「交通機関へのアクセス」を性別・年代別で見ると、18～24歳、75歳以上で男性が女性に比べ高い満足度を示している。地域別では柏ヶ谷地域、国分地域が70%台の他、大谷地域、海西地域が60%台と高い割合を示している。

◎不満足度の高い項目(不満とやや不満を合わせた順位)

「歩道・信号の設置等の交通安全対策」など2項目が30%台

不満足度の高い項目は1位「歩道・信号の設置等の交通安全対策」33.4%、2位「騒音・振動・悪臭等の公害対策」32.9%、3位「生活道路の整備」25.4%、4位「既設道路の補修」23.6%、5位「駅周辺市街地整備」22.8%となっている。この上位5項目は前回調査時も上位5位を占めていた。

1位の「歩道・信号の設置等の交通安全対策」では、年代別で最も高いのは40歳代の42.3%で、性別・年代別でも40歳代が最も高くなっている。地域別では上郷・下今泉地域が約50%と高くなっている。居住年数では5年以上10年未満が44.4%で最も高かった。

2位の「騒音・振動・悪臭等の公害対策」は年代別では18～24歳が42.2%で最も高く、特に同年代の女性は51.0%で、性別・年代別の区分の中で一際高くなっている。地域別では柏ヶ谷地域が50.9%で他の地域と比べると高く、続いて本郷地域42.8%となっている。

3位の「生活道路の整備」は年代別では40歳代が最も高く、性別・年代別では25～29歳の男性が36.3%と特に高い。地域別では上郷・下今泉地区が32.9%と最も高く、国分地域、海西地域が続いている。居住年数では生まれてからずっとが30%台だった。

◎生活環境と施策の平均評価点

「満足」「やや満足」「やや不満」「不満」評価の各回答者数に所定の評価点を乗じた値の和を調査回答者数で除したものを「平均評価点」とする。平均評価点は-2.00から2.00の間に分布する。

この平均評価点の算出方法では「どちらとも言えない」の評価は考慮されず、「満足」と「やや満足」、「やや不満」と「不満」では点数に倍の差がつくため、順位は%評価や%評価を基準としている満足度、不満足度とは異なる結果になる場合もある。

☆算出式

$$\frac{\text{「満足」} \times 2 \text{点} + \text{「やや満足」} \times 1 \text{点} + \text{「やや不満」} \times -1 \text{点} + \text{「不満」} \times -2 \text{点}}{\text{調査回答者数}}$$

| | 満足 | やや満足 | どちらとも言えない | やや不満 | 不満 | 無回答 | 平均評価点 | 前年度との比較 |
|-------------------------------|------|------|-----------|------|------|-----|-------|---------|
| ア. 保健相談センターや病院等の保健医療施設 | 13.3 | 34.6 | 29.2 | 15.2 | 5.4 | 2.3 | 0.35 | ↗ |
| イ. デイサービス施設等の高齢者・障害者福祉の施設 | 3.4 | 15.0 | 64.0 | 8.0 | 3.0 | 6.5 | 0.08 | ↗ |
| ウ. 体育館や図書館等の文化・スポーツ施設 | 11.6 | 35.3 | 29.9 | 13.9 | 5.5 | 3.8 | 0.34 | ↗ |
| エ. 小中学校等の教育施設 | 9.6 | 28.3 | 45.7 | 8.0 | 2.1 | 6.3 | 0.35 | ↗ |
| オ. 樹林地や田園等の緑と自然環境 | 18.7 | 43.5 | 21.8 | 9.6 | 3.1 | 3.2 | 0.65 | ↗ |
| カ. ごみ処理と資源回収 | 23.0 | 47.0 | 18.4 | 7.3 | 2.2 | 2.0 | 0.81 | ↗ |
| キ. 騒音・振動・悪臭等の公害対策 | 8.2 | 23.5 | 33.0 | 21.2 | 11.7 | 2.4 | -0.05 | ↗ |
| ク. 火災や自然災害に対する体制・対策 | 6.9 | 23.3 | 58.6 | 6.2 | 1.7 | 3.2 | 0.28 | ↗ |
| ケ. 防犯に対する体制・対策 | 5.3 | 23.9 | 49.7 | 13.0 | 4.6 | 3.5 | 0.12 | ↗ |
| コ. 歩道・信号の設置等の交通安全対策 | 6.5 | 27.0 | 30.9 | 24.9 | 8.5 | 2.2 | -0.02 | ↗ |
| サ. 歩道の無い通学路の路側帯を緑色に着色する交通安全対策 | 8.0 | 27.0 | 40.3 | 14.6 | 6.8 | 3.2 | 0.15 | ↗ |
| シ. 既設道路の補修 | 5.3 | 24.2 | 43.6 | 17.5 | 6.1 | 3.4 | 0.05 | ↗ |
| ス. 生活道路の整備 | 6.9 | 27.6 | 37.4 | 17.9 | 7.5 | 2.6 | 0.08 | ↗ |
| セ. 二車線以上に区分された道路の整備 | 6.3 | 26.5 | 44.6 | 13.5 | 4.9 | 4.1 | 0.16 | ↗ |
| ソ. 下水道・排水処理 | 16.3 | 36.9 | 34.2 | 6.7 | 3.3 | 2.6 | 0.56 | ↗ |
| タ. 駅周辺市街地整備 | 11.3 | 36.9 | 25.9 | 16.2 | 6.6 | 3.1 | 0.30 | ↗ |
| チ. 交通機関へのアクセス | 21.8 | 39.2 | 19.2 | 12.9 | 4.2 | 2.7 | 0.61 | ↗ |
| ツ. 公園・遊び場の整備 | 9.3 | 31.7 | 34.3 | 16.0 | 5.5 | 3.2 | 0.23 | ↗ |
| テ. 買い物等の生活の利便さ | 21.8 | 39.0 | 19.1 | 13.1 | 5.0 | 2.0 | 0.59 | ↗ |
| ト. 産業の振興 | 3.2 | 13.5 | 61.4 | 13.2 | 4.0 | 4.6 | -0.01 | ↘ |
| ナ. 市民の市政への参加 | 2.6 | 12.5 | 67.9 | 10.7 | 2.5 | 3.8 | 0.02 | ↗ |
| ニ. 市の行財政運営 | 3.1 | 13.9 | 64.3 | 11.0 | 3.8 | 3.9 | 0.02 | ↗ |

※「満足」「やや満足」「どちらとも言えない」「やや不満」「不満」「無回答」の数値は%表示。平均評価点は上記算式により算出し、小数点第3位を四捨五入した数値

今回の調査では全体で、22項目中で平均評価点がプラスとなった項目は19項目、マイナスとなった項目は3項目あった。

プラス評価が高い項目では、「ごみ処理と資源回収」0.81が最も高く、続いて「樹林地や田園等の緑と自然環境」0.65、「交通機関へのアクセス」0.61、「買い物等の生活の便利さ」0.59、「下水道・排水処理」0.56となっていて、前回調査より「樹林地や田園等の緑と自然環境」の評価順位が上がった。

マイナス評価が高い項目では、「騒音・振動・悪臭等の公害対策」-0.05が最も高く、「歩道・信号の設置等の交通安全対策」-0.02、「産業の振興」-0.01と続いている。

◎地域別評価

| | 柏ヶ谷 | 上今泉 | 上郷・下今泉 | 国分 | 海西 | 大谷 | 杉久保 | 本郷 | 社家 | 門沢橋 |
|----------------------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|
| ア. 保健医療施設 | 0.31 | 0.28 | 0.16 | 0.40 | 0.58 | 0.47 | 0.19 | 0.33 | 0.22 | -0.08 |
| イ. 高齢者・障害者福祉の施設 | -0.01 | 0.17 | 0.07 | 0.03 | 0.14 | 0.05 | 0.19 | 0.36 | 0.09 | -0.05 |
| ウ. 文化・スポーツ施設 | -0.03 | 0.51 | 0.55 | 0.27 | 0.50 | 0.27 | 0.40 | 0.29 | 0.54 | 0.65 |
| エ. 教育施設 | 0.32 | 0.59 | 0.46 | 0.22 | 0.41 | 0.32 | 0.41 | 0.55 | 0.26 | 0.23 |
| オ. 樹林地や田園等の緑と自然環境 | 0.42 | 0.85 | 0.78 | 0.56 | 0.67 | 0.64 | 0.91 | 1.02 | 0.70 | 0.62 |
| カ. ごみ処理と資源回収 | 0.87 | 0.96 | 0.73 | 0.77 | 0.83 | 0.79 | 0.90 | 0.83 | 0.57 | 0.76 |
| キ. 公害対策 | -0.47 | 0.04 | -0.04 | 0.06 | 0.08 | -0.04 | 0.15 | -0.36 | 0.07 | -0.04 |
| ク. 火災や自然災害に対する体制・対策 | 0.19 | 0.34 | 0.18 | 0.26 | 0.29 | 0.35 | 0.43 | 0.21 | 0.26 | 0.14 |
| ケ. 防犯に対する体制・対策 | -0.04 | 0.26 | 0.06 | 0.15 | 0.20 | 0.26 | 0.18 | -0.12 | 0.04 | -0.19 |
| コ. 歩道・信号の設置等の交通安全対策 | -0.03 | -0.01 | -0.37 | -0.17 | 0.08 | 0.24 | 0.15 | -0.14 | 0.03 | -0.28 |
| サ. 路側帯を緑色に着色する交通安全対策 | 0.07 | 0.27 | 0.10 | 0.16 | 0.04 | 0.46 | 0.25 | 0.21 | -0.06 | -0.32 |
| シ. 既設道路の補修 | 0.03 | 0.14 | 0.03 | 0.03 | -0.13 | 0.30 | 0.12 | 0.10 | 0.04 | -0.23 |
| ス. 生活道路の整備 | 0.10 | 0.16 | -0.06 | -0.08 | -0.02 | 0.39 | 0.20 | 0.12 | 0.10 | -0.04 |
| セ. 二車線以上に区分された道路の整備 | 0.02 | 0.13 | 0.00 | 0.07 | 0.17 | 0.33 | 0.40 | 0.14 | 0.41 | 0.07 |
| ソ. 下水道・排水処理 | 0.60 | 0.61 | 0.54 | 0.63 | 0.47 | 0.74 | 0.73 | -0.57 | 0.39 | 0.49 |
| タ. 駅周辺市街地整備 | 0.23 | 0.38 | 0.24 | 0.41 | 0.02 | 0.46 | 0.55 | 0.40 | 0.41 | -0.11 |
| チ. 交通機関へのアクセス | 0.93 | 0.35 | 0.27 | 0.85 | 0.68 | 0.79 | 0.51 | -0.12 | 0.16 | -0.03 |
| ツ. 公園・遊び場の整備 | 0.54 | 0.38 | 0.39 | 0.01 | 0.20 | 0.35 | 0.09 | -0.26 | 0.36 | 0.00 |
| テ. 買い物等の生活の便利さ | 0.86 | 0.37 | -0.25 | 0.91 | 0.77 | 0.77 | 0.38 | 0.05 | 0.06 | -0.19 |
| ト. 産業の振興 | -0.02 | 0.03 | -0.09 | 0.07 | -0.06 | -0.01 | 0.02 | -0.12 | -0.09 | -0.14 |
| ナ. 市民の市政への参加 | -0.02 | 0.09 | 0.04 | 0.04 | 0.03 | 0.00 | 0.07 | 0.10 | -0.01 | -0.12 |
| ニ. 市の行財政運営 | -0.06 | 0.12 | 0.03 | 0.05 | -0.02 | 0.04 | 0.10 | 0.12 | -0.03 | -0.16 |

地域別に評価点を見ると、全体でも評価の高かった「ごみ処理と資源回収」と「樹林地や田園等の緑と自然環境」は全ての地域でプラス評価となっており、杉久保地域はこの2項目とも高い数値である。また、「小中学校等の教育施設」、「火災や自然災害に対する体制・対策」も全ての地域でプラス評価を得ている。

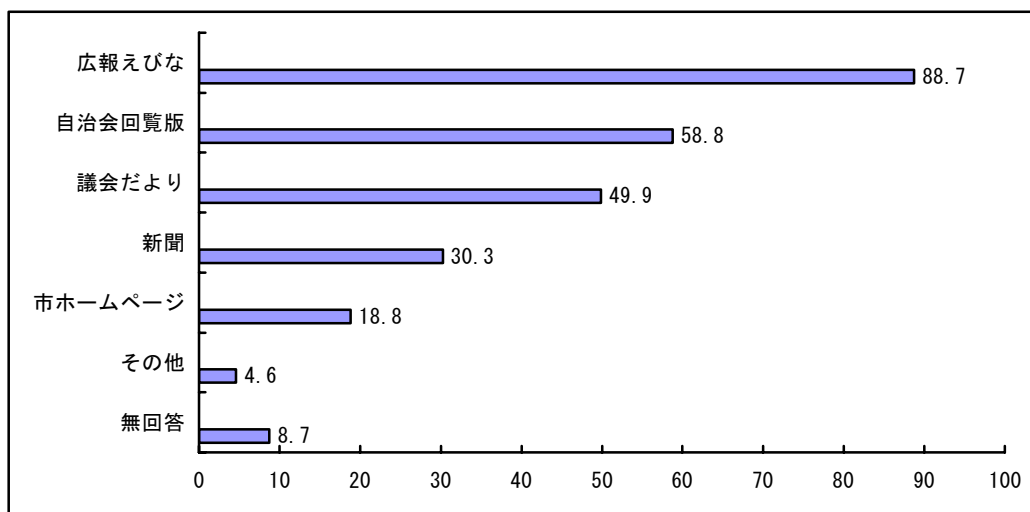
地域によって最高評価点と最低評価点の差が大きかった項目は、「下水道・排水処理」大谷地域0.74、本郷地域-0.57で1.31だった。続いて「買い物等の生活の便利さ」国分地域0.91、上郷・下今泉地域-0.25で1.16、「交通機関へのアクセス」柏ヶ谷地域の0.93、本郷地域の-0.12で差は1.05となっている。

3 「広報・情報化」

(1) 市から発信される情報の情報源

8割強が「広報えびな」から市の情報を入手している

問9 あなたは、市が発信する情報を、どのような手段で入手していますか。(いくつでも選択)



市の情報の入手方法について、最も高かったのは「広報えびな」88.7%で、続いて「自治会回覧版」58.8%、「議会だより」49.9%となっている。8割強が「広報えびな」、5割強が「自治会回覧版」から市の情報を入手していることになる。

性別でみると、男女ともに「広報えびな」が最も高くなっている。年代別で見ても、年代を問わず「広報えびな」が最も高く、30～39歳を除いた年代で「自治会回覧版」が続いている。30～39歳においては「議会だより」が「自治会回覧版」を上回っている。

(2) 市の広報媒体の満足度

広報えびなは約4割が「わかりやすい」と回答

問9-1 現在の広報えびな、議会だより、市のホームページの内容についてどう思われますか。

(項目ごとに1つ選択)

| | わかりやすい | ふつう | わかりにくい | 無回答 |
|------------|--------|------|--------|------|
| ア. 広報えびな | 39.4 | 55.9 | 1.3 | 3.3 |
| イ. 議会だより | 8.8 | 62.1 | 11.3 | 17.9 |
| ウ. 市ホームページ | 5.3 | 39.2 | 10.1 | 45.4 |

現在の広報えびな、議会だより、市のホームページの内容についてどう思われるかについて、広報えびな、議会だより、市のホームページ全ての項目で「ふつう」という評価が最も高かった。続いて「わかりやすい」の回答が高かったのは広報えびなで、議会だより、市のホームページは「わかりにくい」が「わかりやすい」を上回る結果となった。

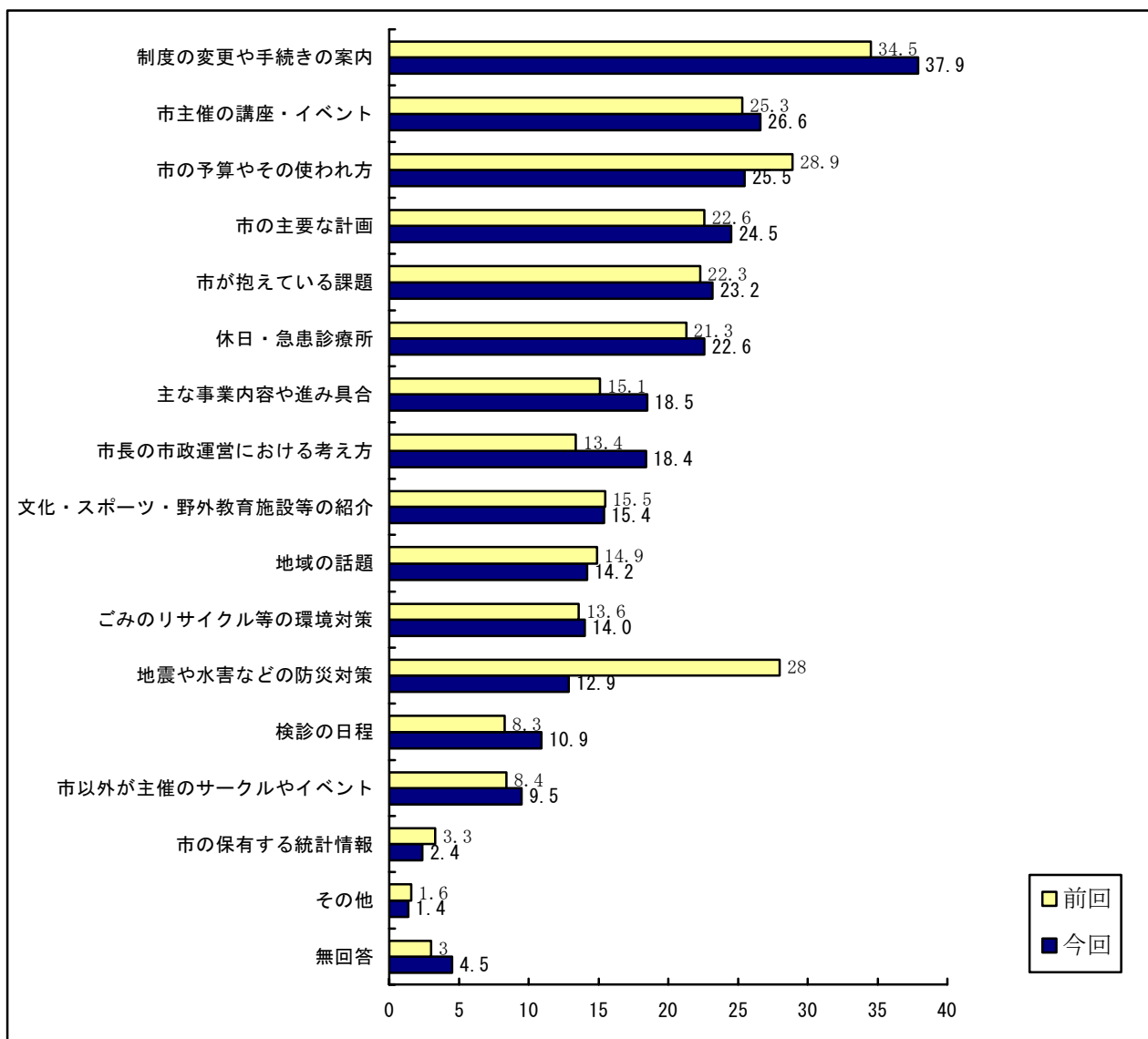
性別では、男女ともに全体と同じ順番で「ふつう」という評価が最も高く、続いて広報えびな以外は「わかりにくい」という評価となった。

性別・年代別で見ると、広報えびなと市ホームページはほとんどの性別・年代で全体と同順位だが、議会だよりについては60歳以上の女性が「わかりやすい」が「わかりにくい」を上回っている。

(3) 市の広報媒体で掲載してほしい内容

3割台半ばが「制度の変更や手続きの案内」と回答

問9-2 広報えびな、議会だより、市のホームページにどのような記事(内容)を掲載してほしいと思いますか。(3つまで選択)



広報やホームページなどで掲載してほしい内容について、「制度の変更や手続きの案内」37.9%で最も高く、続いて「市主催の講座・イベント」26.6%、「市の予算やその使われ方」25.5%となっている。

1位の「制度の変更や手続きの案内」は、年代別は25～29歳が51.2%と高く、性別・年代別で特に同年代の女性が62.5%と最も高い。地域別では上郷・下今泉地域、杉久保地域、本郷地域、門沢橋地域で4割を超えている。居住年数別では1年以上5年未満が43.5%と最も高く、他も全て30%台と比較的均質であった。

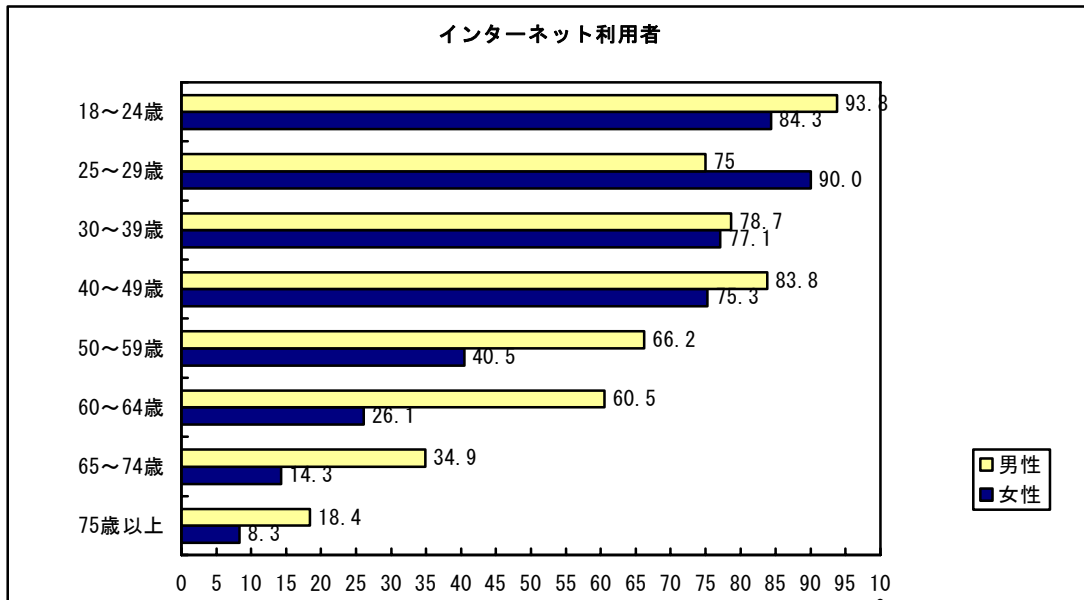
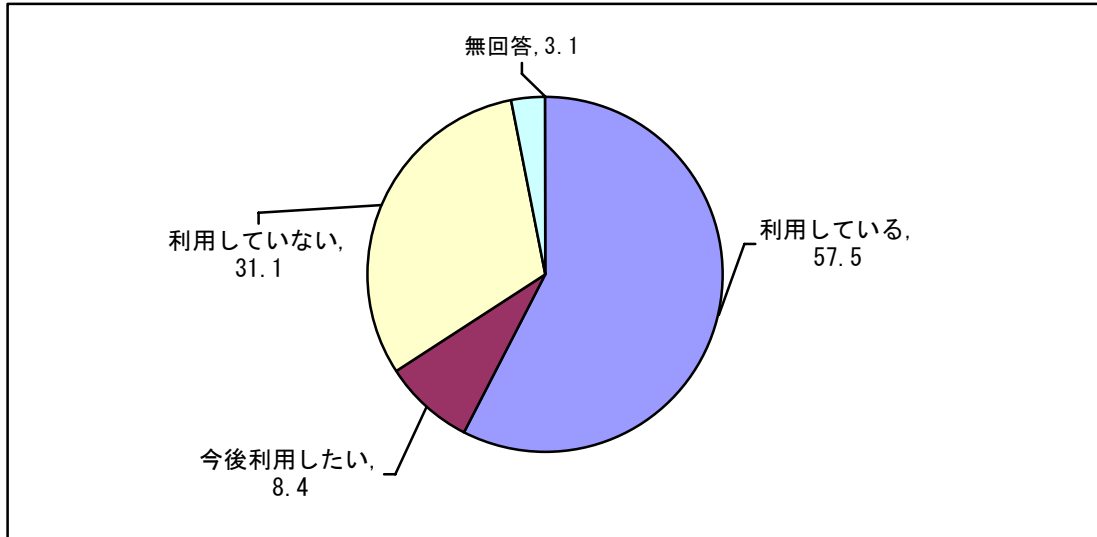
2位の「市主催の講座・イベント」は年代別で見ると25～29歳で40.5%と最も高く、18～24歳、30～39歳で3割を超えた。地域別では柏ヶ谷地域、海西地域で30%台となっている。

3位の「市の予算やその使われ方」は年齢別では18～24歳、60～64歳、65～74歳が3割を超えた。地域別では杉久保地域、社家地域、門沢橋地域が高く、居住年数別では「生まれてからずっと」が38.1%と最も高く、5年以上は20%台、5年未満は10%台となっている。

(4) インターネットの利用状況

約6割がインターネットを利用

問10 あなたはインターネットを利用していますか。(1つ選択)



インターネットを利用していると回答したのは57.5%であり、前回調査より3.3ポイントの減少となった。

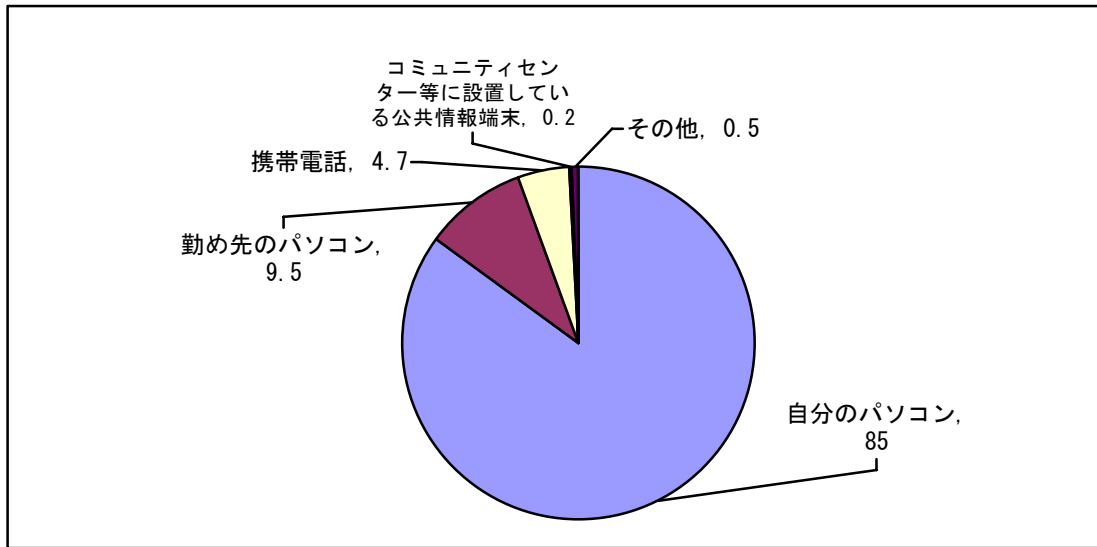
利用状況を性別ごとに見てみると、男性62.6%、女性53.1%となっている。年代別では、18～24歳が88.0%で最も高く、その内の性別・年代別では男性93.8%、女性84.3%となっている。年代で見ると60～64歳以上から5割を割り込んでいるが、男性では60～64歳まで5割に達しているのに対し、女性は50歳代から5割を切っている。

(5) インターネットの利用端末の種類

8割強が自分のパソコンを利用している

(N=853)

問10-1 利用度の一番高いものはどれですか。(1つ選択)



利用端末は、「自分のパソコン」が85.0%で最も高く、「携帯電話」4.7%を合わせると約9割が「自分の端末」を利用していることになる。

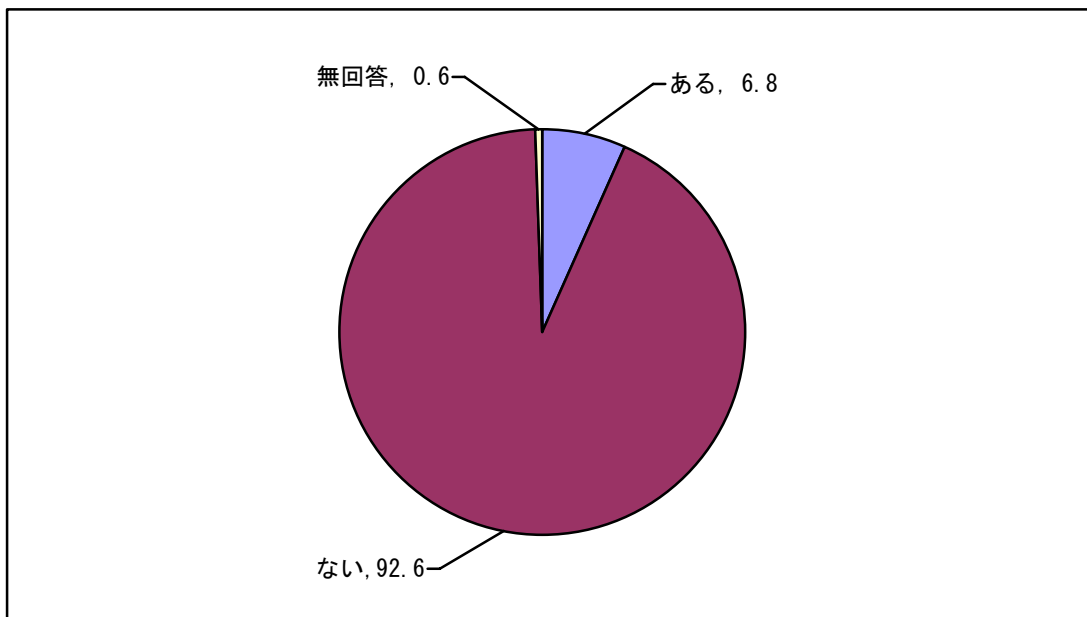
性別で見ると、男女ともに「自分のパソコン」が最も高くなっており、年代で見ても全世代の8割以上が「自分のパソコン」を利用している。

(6) 電子申請の利用状況

約9割が「利用したことがない」

(N=853)

問10-2 市では、各種申請・届出などのオンラインサービスを提供しています。電子申請で申請をしたことがありますか。(1つ選択)



電子申請を利用したことがあるかについて、「ない」92.6%の約9割に対して、「ある」6.8%にすぎなかった。

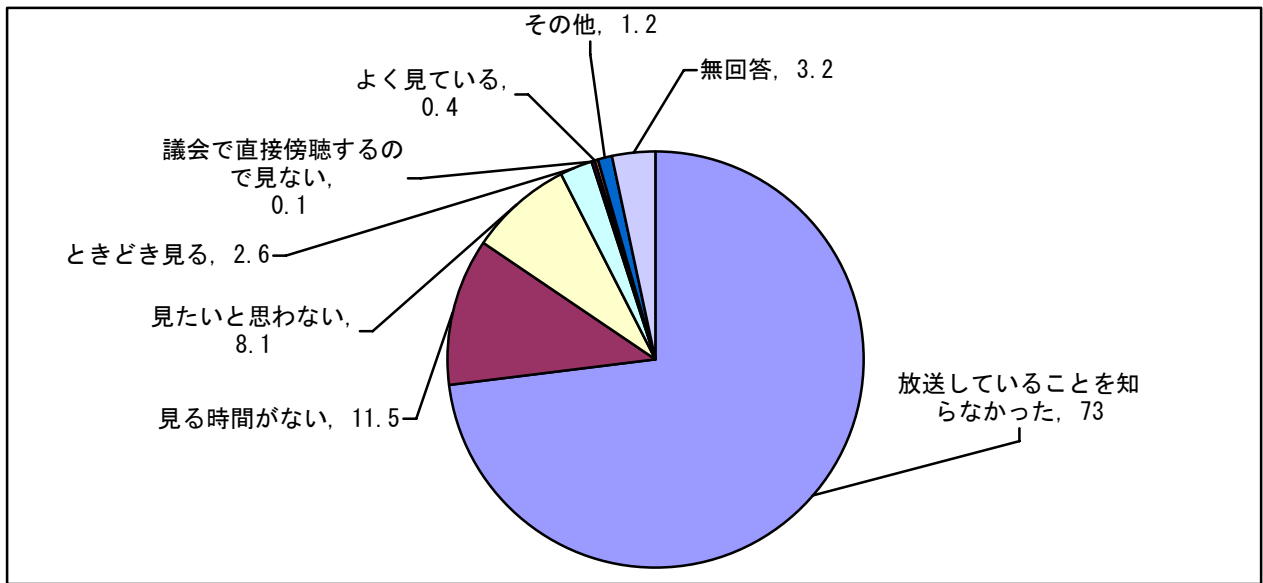
全ての項目において、申請したことが「ない」の回答が8割以上と高い数値であった。

(7) 海老名市議会インターネット放送の利用状況

約7割が「放送していることを知らなかった」

(N=853)

問10-4 あなたは、議会インターネット放送を見たことがありますか。(1つ選択)



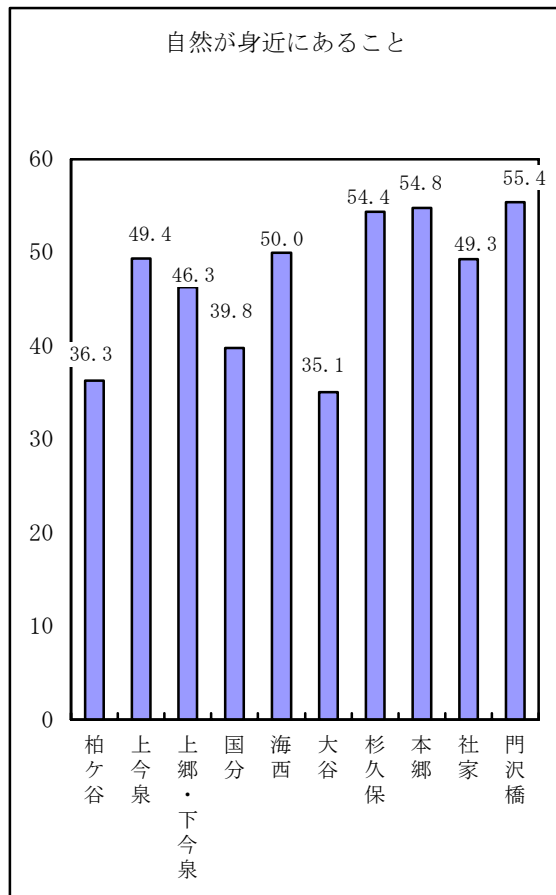
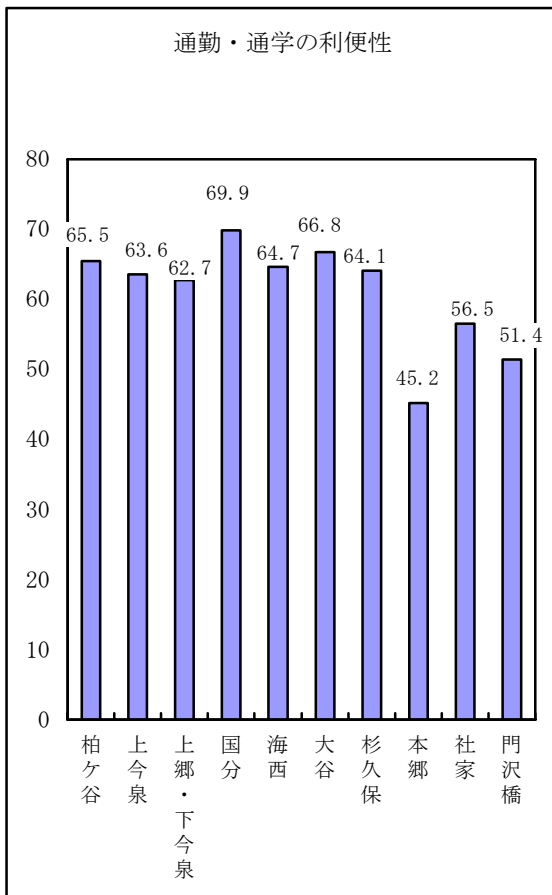
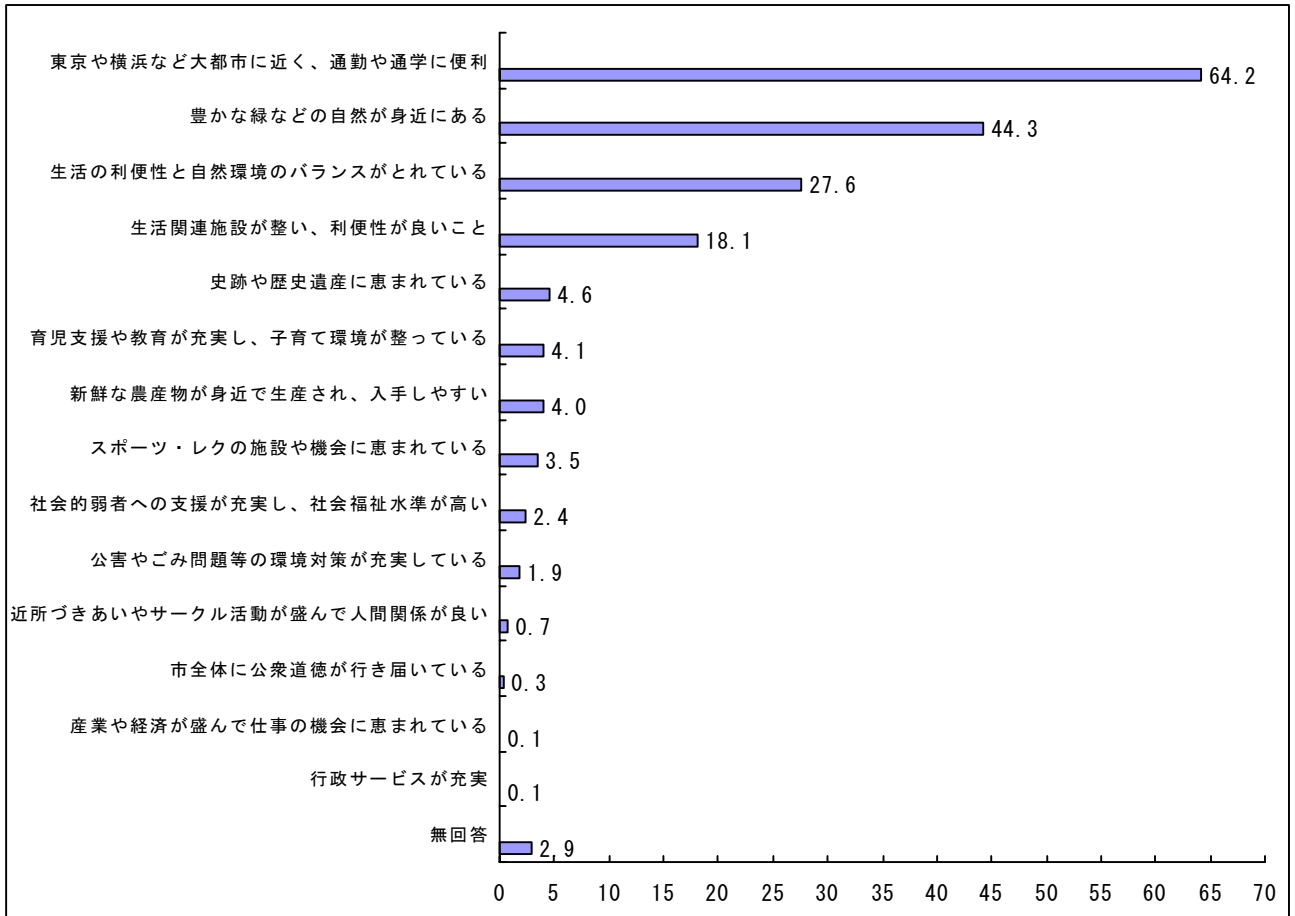
市議会のインターネット放送について、「放送していることを知らなかった」73.0%で最も高く、「見る時間がない」11.5%が続いている。また、「よく見ている」0.4%、「ときどき見る」2.6%の合計は3%であった。

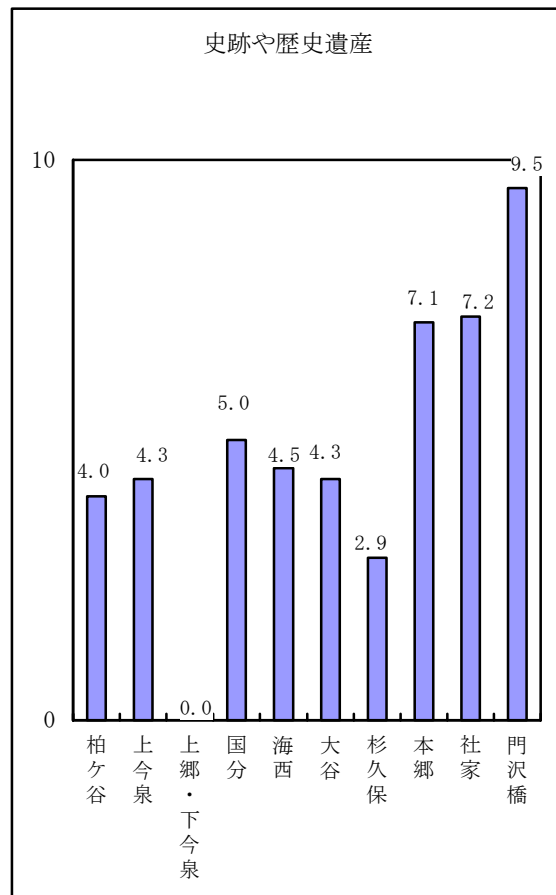
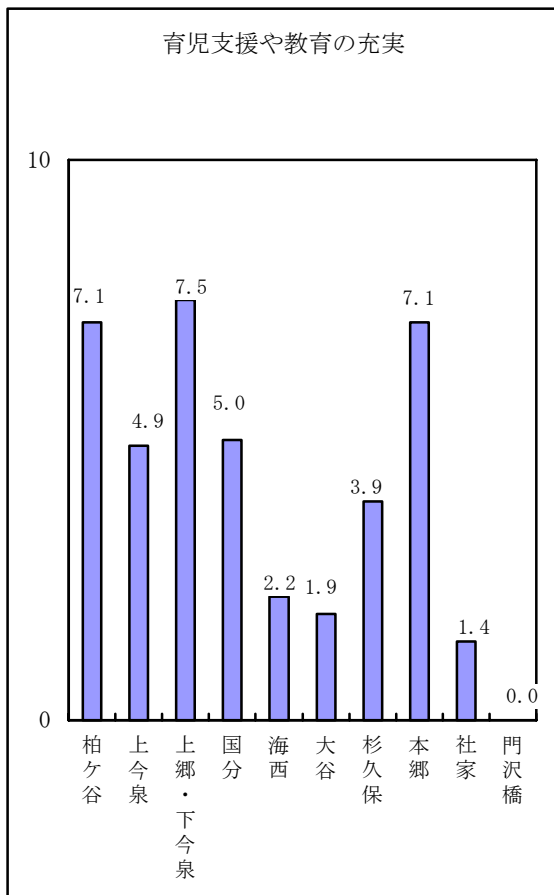
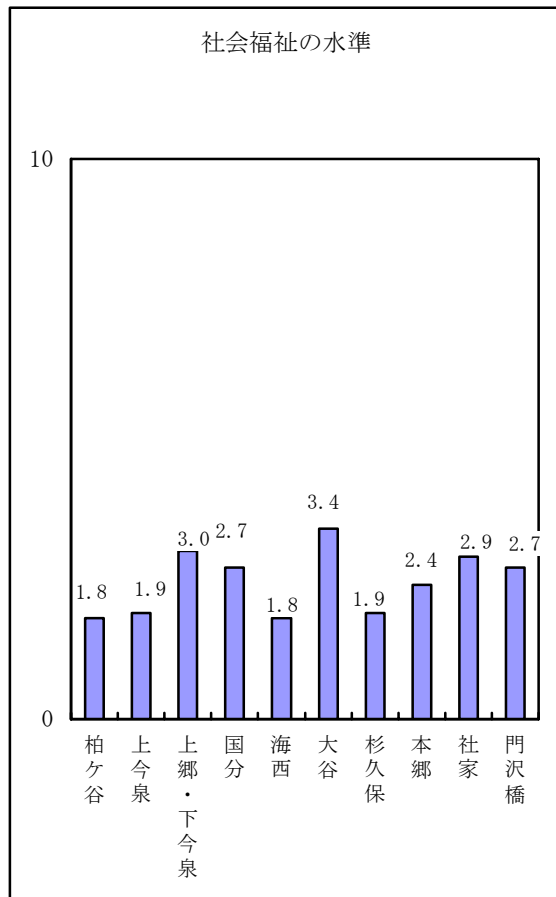
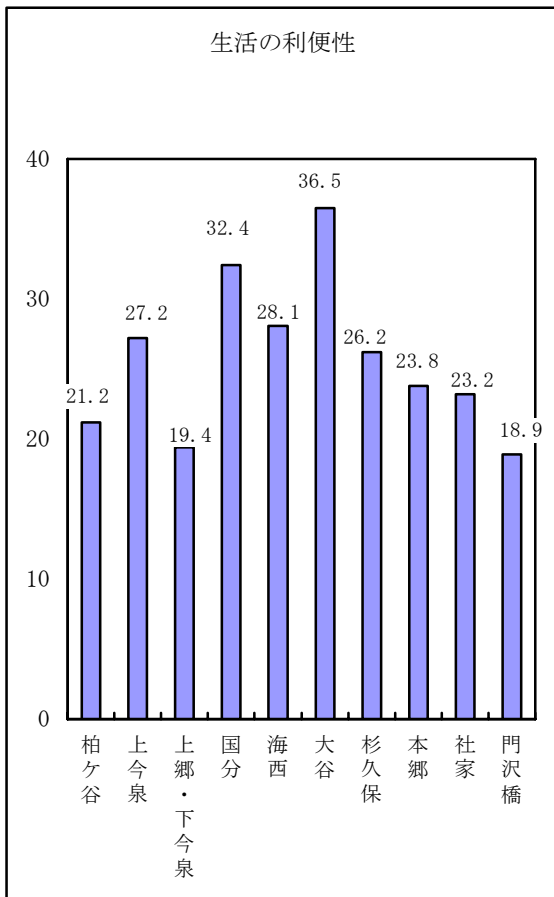
4 「都市ブランド」

(1) 海老名市の魅力

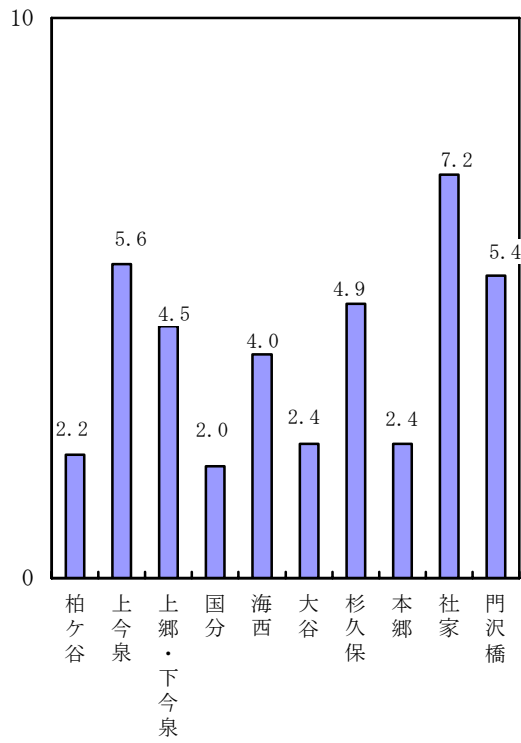
「通勤や通学に便利」が6割超、「自然が身近」が4割超

問11 あなたは、海老名市のどのようなところに強い魅力を感じますか。(3つまで選択)

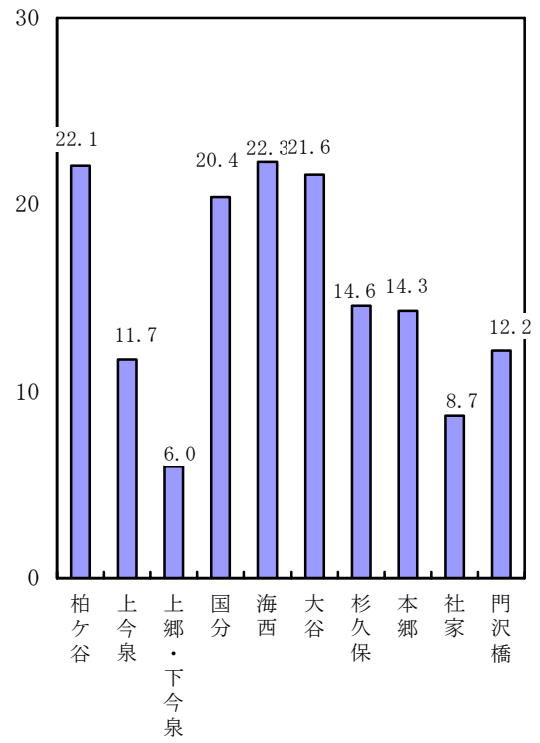




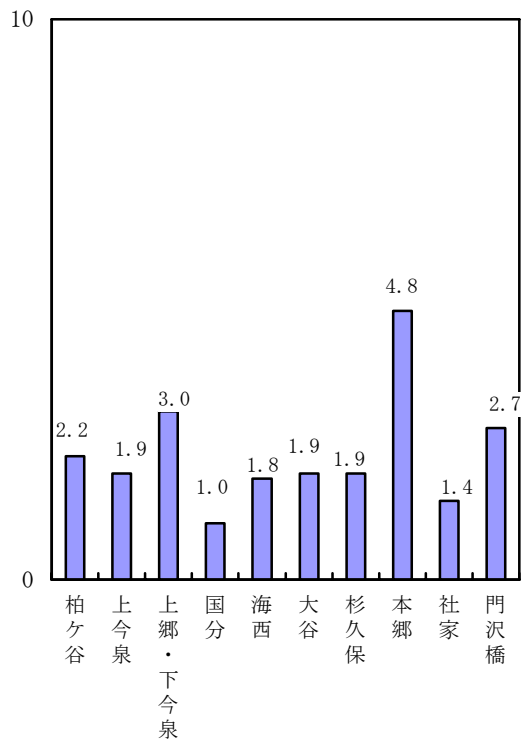
スポーツ施設や機会



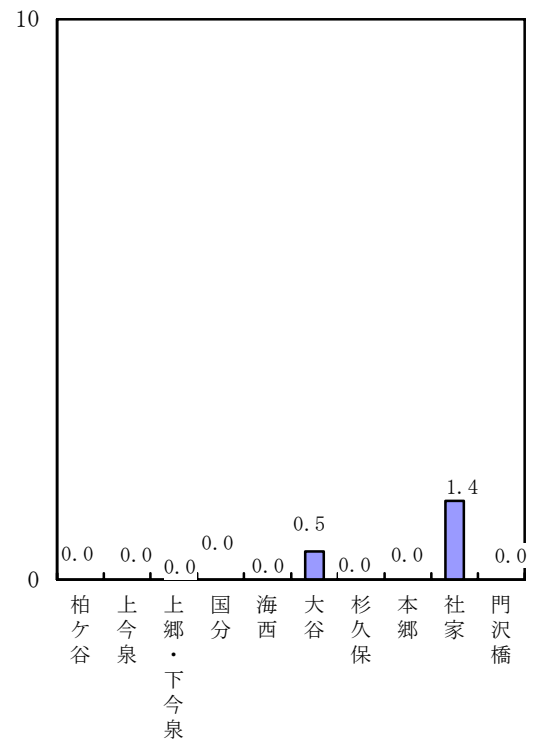
生活関連施設、利便性



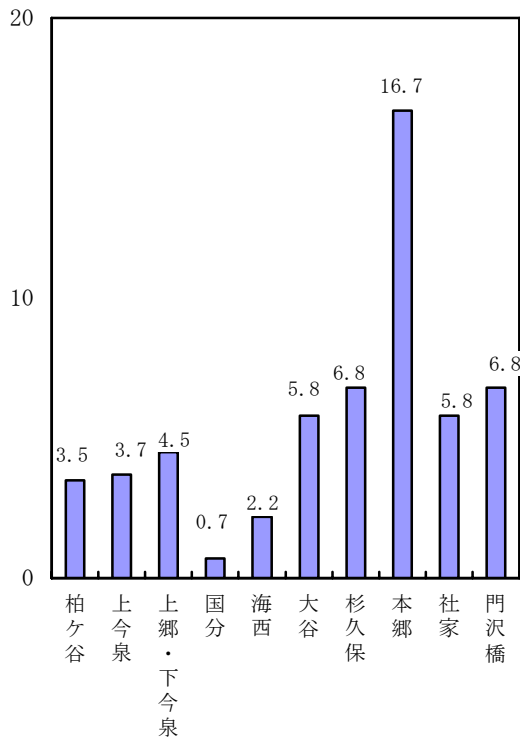
公害・ゴミ問題等の環境対策



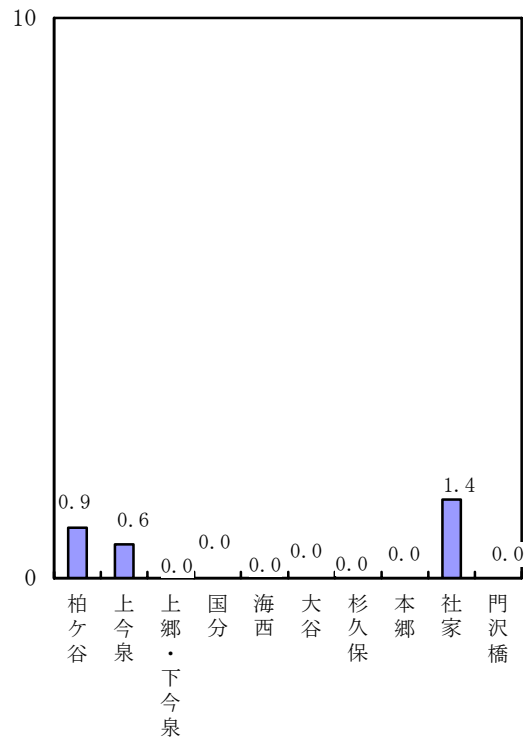
産業・経済、仕事の機会



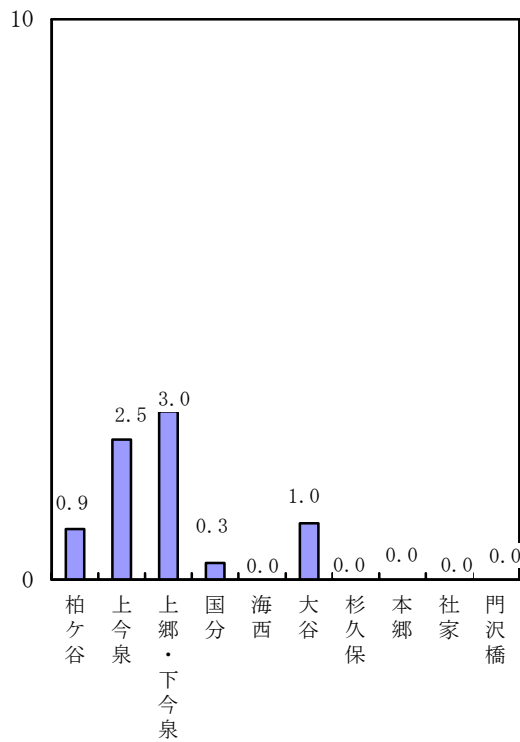
新鮮な農産物の生産、入手



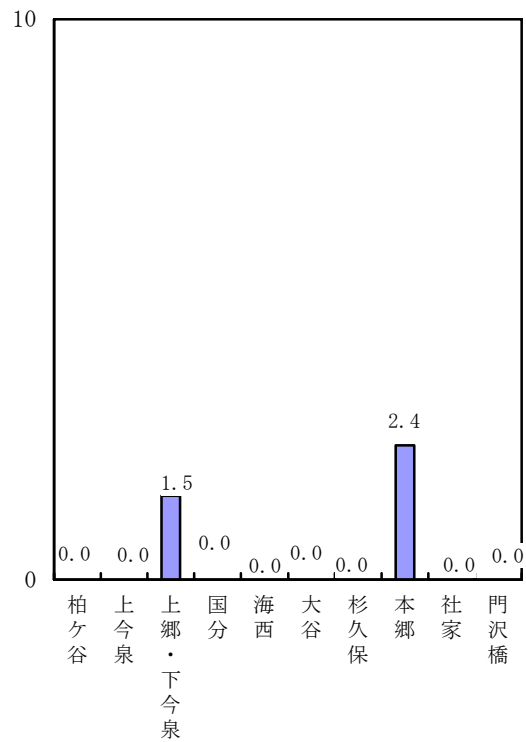
公衆道徳



近所づきあいやサークル活動



行政サービスの充実



海老名市で強く魅力を感じるところは、「東京や横浜など大都市に近く、通勤や通学に便利であること」64.2%で最も高く、次いで「豊かな緑などの自然が身近にある」44.3%、「生活の利便性と自然環境のバランスがとれている」27.6%、「買い物、交通、医療など生活関連施設が整い、利便性が良いこと」18.1%となっている。

「東京や横浜など大都市に近く、通勤や通学に便利であること」は前回調査の海老名市の魅力を問う設問（いくつでも選択）でも70%を超え高い結果であった。年代別では、25～29歳では70%台で、他の全ての年代でも60%を超えている。地域別では、ほぼ5割を超えており、最も低い本郷地域で45.2%となっている。居住年数別ではどの層も約6割であり、概ね高い水準にある。

「豊かな緑などの自然が身近にある」は全ての年代で約40%となっており、安定して高い評価となっている。地域別では、門沢橋地域、本郷地域、杉久保地域、海西地域が5割を超える高い数値となっている一方、大谷地域35.1%、柏ヶ谷地域36.3%と低い結果となっている。

「生活の利便性と自然環境のバランスがとれている」の地域別では、大谷地域36.5%が最も高く、居住年数では、1年未満の39.1%が最も高くなっている。

5 「男女共同参画・人権」

(1) 男女平等の実現

「学校教育の中で」は約5割がおおむね平等と回答

問12 あなたは、男女の平等がどの程度実現されていると思いますか。（項目ごとに1つ選択）

| | 男性が優位 | どちらかといえば男性が優位 | おおむね平等 | どちらかといえば女性が優位 | 女性が優位 | わからない | 無回答 |
|--------------------|-------|---------------|--------|---------------|-------|-------|-----|
| ア. 家庭生活の中で | 5.9 | 27.3 | 48.9 | 9.8 | 2.6 | 2.7 | 2.9 |
| イ. 職場の中で | 15.2 | 34.8 | 29.9 | 1.8 | 1.3 | 9.2 | 7.7 |
| ウ. 学校教育の中で | 1.6 | 9.0 | 56.9 | 2.8 | 0.9 | 19.8 | 9.0 |
| エ. 社会通念・慣習・しきたりなどで | 12.1 | 49.2 | 24.3 | 2.0 | 0.6 | 6.4 | 5.5 |
| オ. 法律や制度の上で | 9.2 | 30.5 | 42.0 | 4.0 | 1.1 | 8.1 | 5.1 |
| カ. 地域活動で | 4.0 | 18.4 | 48.1 | 10.6 | 2.4 | 12.0 | 4.6 |

生活の様々な場面で、男女の平等がどの程度実現されていると認識しているかについて、男女が概ね平等と言う評価が最も高かったのは「学校教育の中で」56.9%、次に「家庭生活の中で」48.9%、「地域活動（自治会・PTA・ボランティア活動など）」48.1%だった。

男性が優位、どちらかといえば男性が優位の合計で比較すると、最も高いのは「社会通念・慣習・しきたりなどで」61.3%、続いて「職場の中で」50.0%、「法律や制度の上で」39.7%だった。

女性が優位、どちらかといえば女性が優位の合計で比較すると、最も高いのは「地域活動（自治会・PTA・ボランティア活動など）」13.0%で、「家庭生活の中で」12.4%、「法律や制度の上で」5.1%と続いている。

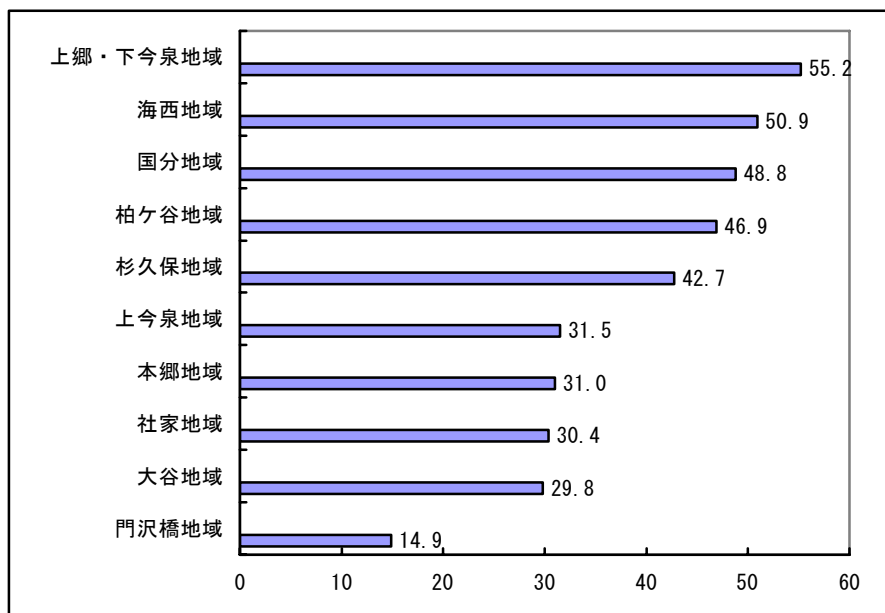
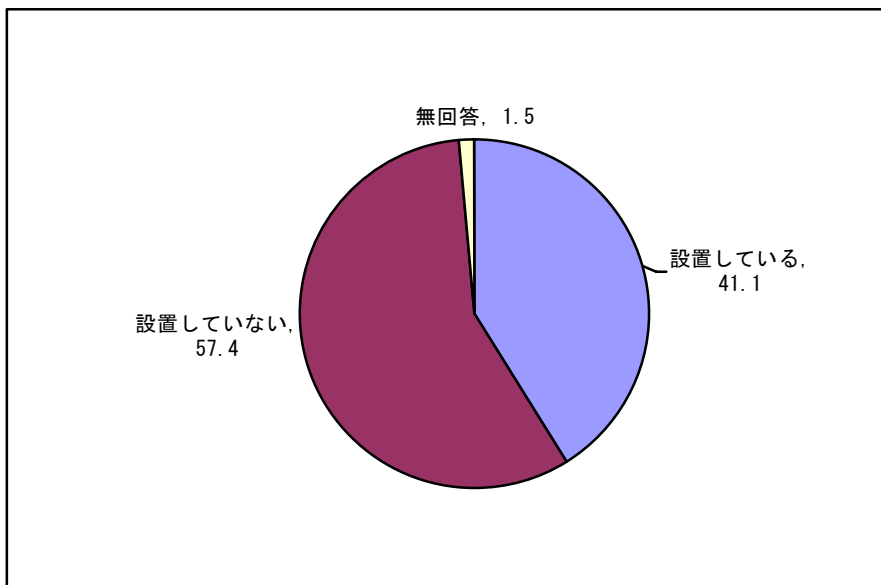
性別で見ると、男性は全ての項目で女性より「おおむね平等」の回答が高く、また、男女ともほとんどの項目において、男性の方が優位、またはどちらかといえば優位と考えている結果となった。

6 「防火・防災・防犯」

(1) 住宅用火災警報器の設置状況

設置しているのは約4割

問13 あなたの家庭では、住宅用火災警報器を設置していますか。(1つ選択)



住宅用火災警報器を設置しているかについて、「設置している」と回答したのは41.1%で、「設置していない」と回答したのは57.4%だった。

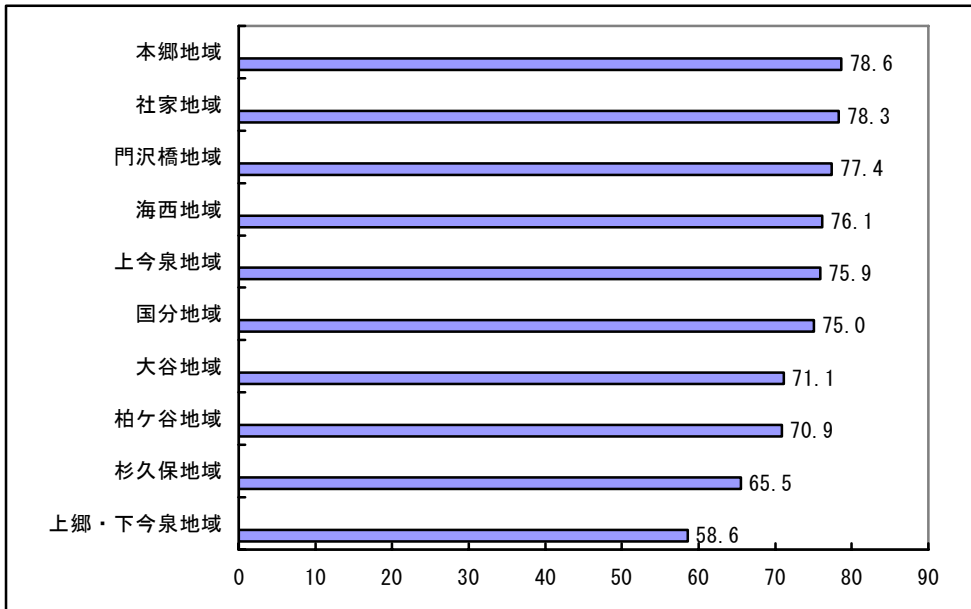
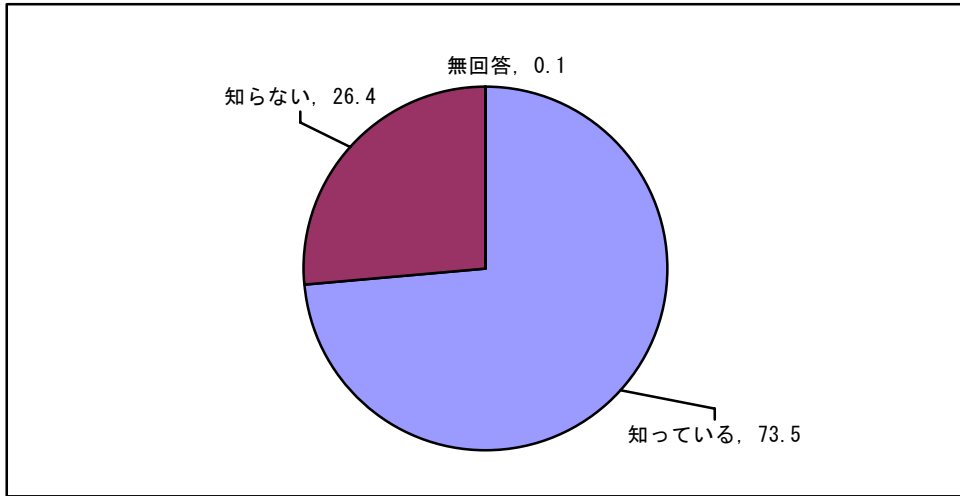
性別、年代別で見ると、「設置している」で最も高かったのは、男性30～39歳が57.4%、女性25～29歳が52.5%であった。

地域別では、上郷・下今泉地域が55.2%で最も高く、門沢橋地域が14.9%で最も低かった。

(2) 住宅用火災警報器設置義務の認知度

設置義務を知っているのは約7割 (N=852)

問13-1 住宅用火災警報器の設置の義務化についてご存知ですか。(1つ選択)



住宅用火災警報器の設置が義務化されたことを知っているかについて、「知っている」と回答したのは73.5%で、「知らない」と回答したのは26.4%だった。

性別、年代別では、18～24歳の男女を除いては、6割以上が「知っている」と回答した。

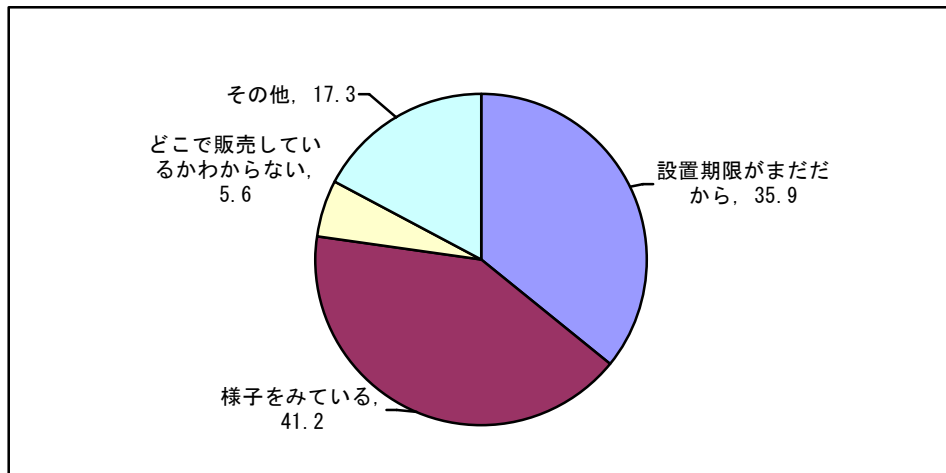
地域別では、本郷地域が78.6%で最も高く、上郷・下今泉地域が58.6%で最も低かった。

(3) 住宅用火災警報器未設置の理由

「様子を見ています」が約4割、「設置期限がまだだから」が3割台半ば

(N=626)

問13-2 設置していない理由をお答えください。(1つ選択)



住宅用火災警報器未設置の理由について、最も高かったのは「様子を見ています」41.2%、続いて「設置期限がまだだから」35.9%となっている。

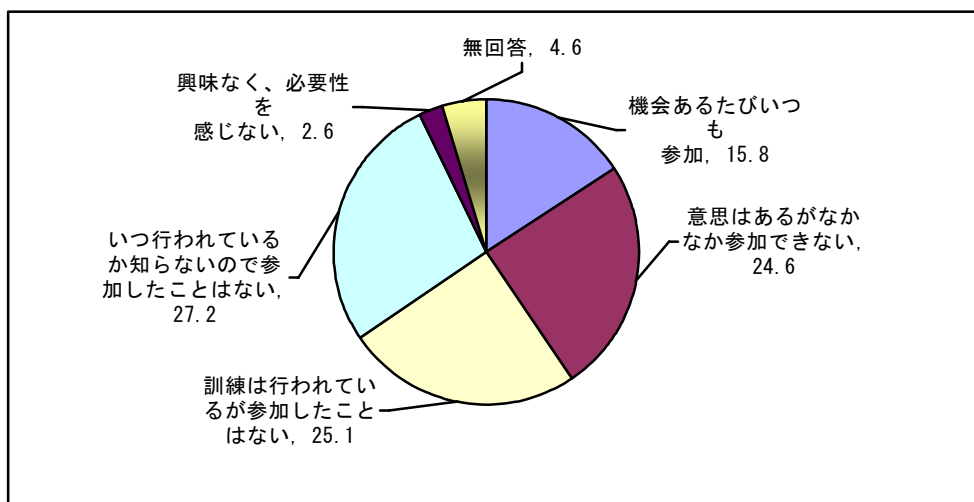
性別で見ると、「様子を見ています」は男女ともに約4割で、年代別に見ると30歳～39歳が51.1%と高くなっている。また、地域別では、上郷・下今泉地域が52.9%で最も高く、次に本郷地域が50.0%と続いている。

「設置期限がまだだから」については、社家地域が50.0%と最も高くなっている。

(4) 地域の防災訓練への参加

4割が地域の防災訓練への参加意思がある

問14 あなたは、お住いの地域の防災訓練に参加したことがありますか。(1つ選択)



地域の防災訓練への参加について、「機会あるたびいつも参加」15.8%、「意思はあるがなかなか参加できない」24.6%で、4割は自主防災訓練への参加意思があると答えている。

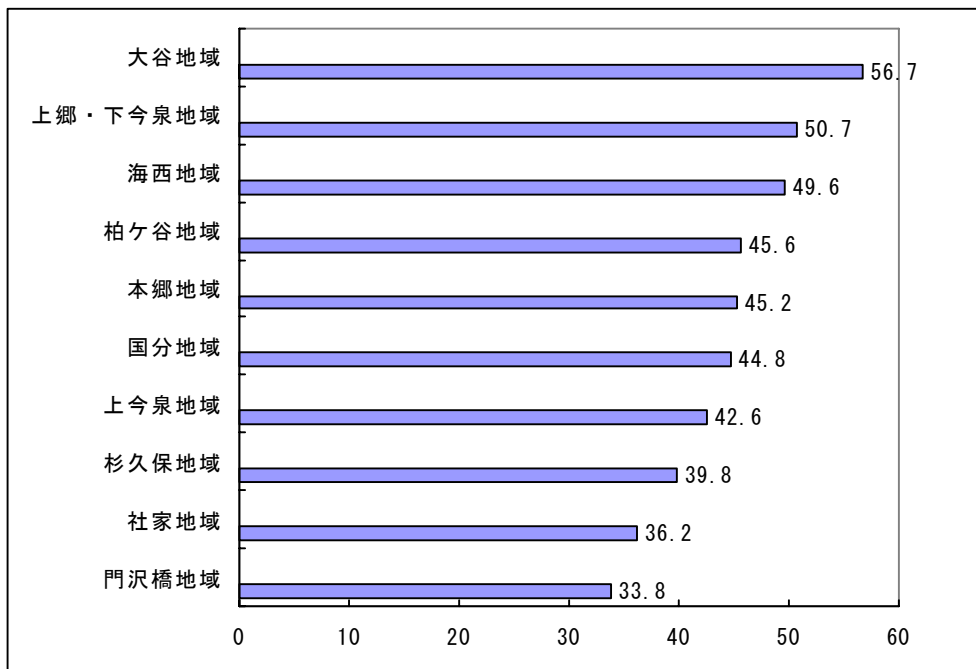
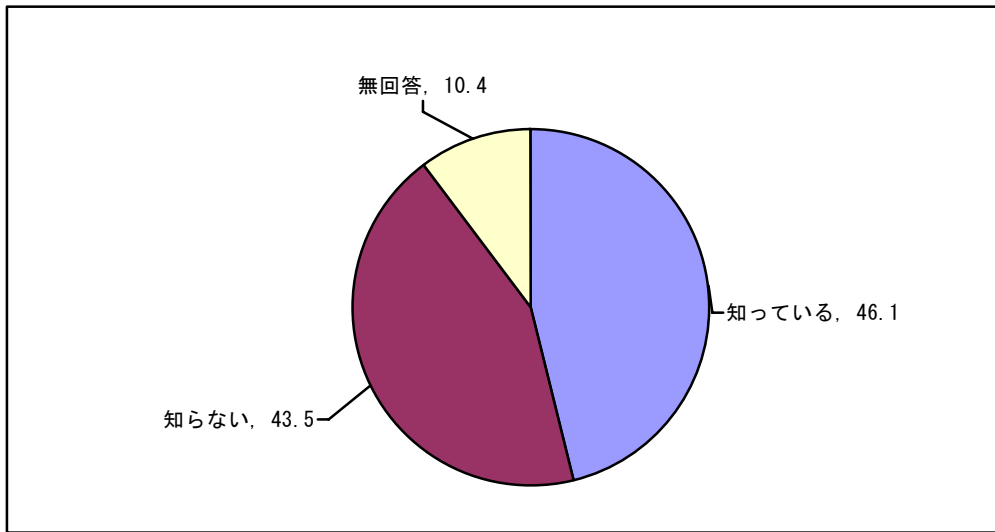
性別・年齢別では「いつも参加」が男女ともに60歳以上は25%～30%と割合が高かった。また、「いつ行われているのか知らないので参加したことがない」は40歳代、50歳代で女性に比べて男性の方が倍近く高かった。

地域別では門沢橋地域、社家地域、杉久保地域、本郷地域で「いつも参加」が低い。「なかなか参加できない」は本郷地域、門沢橋地域が高く、「いつ行われているのか知らない」は社家地域が高かった。

(5) 自主防災組織の認知度

4割台半ばが自主防災組織を認知

問14-1 あなたがお住まいの地域で行われている防災訓練は、自主防災組織で行っていません。その活動はご存知ですか。(1つ選択)



自主防災組織について、「知っている」46.1%、「知らない」43.5%とあまり差はなかった。

年代別では、18～24歳から20歳代までが、「知らない」70%以上と高かった。

性別・年代別では、男女ともに18～24歳で約8割が「知らない」と回答している。また、「知っている」は男女ともに65～74歳が約7割と最も高かった。

地域別では、大谷地域、上郷・下今泉地域で「知っている」が50%を超えており、高い認知度となっている。

居住年数では20年以上の居住者で最も認知されている。

7 「危機管理」

(1) 危機事態に対する計画の認知度

地域防災計画は約4割が「知っている」と回答

問15 市では、危機事態に対応するため、以下の計画を策定しておりますが、ご存知でしたか。
(項目ごとに1つ選択)

| | 知っている | 知らない | 無回答 |
|----------------------|-------|------|-----|
| ア. 地域防災計画（自然災害等） | 39.4 | 55.8 | 4.9 |
| イ. 国民保護計画（武力攻撃事態等） | 6.5 | 87.7 | 5.9 |
| ウ. 危機管理計画（上記以外の危機事態） | 7.5 | 86.5 | 6.1 |

市で策定している、危機事態への対応計画を知っているかについて、地域防災計画、国民保護計画、危機管理計画全ての計画で「知らない」が最も高かった。「知っている」では、地域防災計画の39.4%が最も高く、国民保護計画、危機管理計画においては85%以上が「知らない」と回答している。

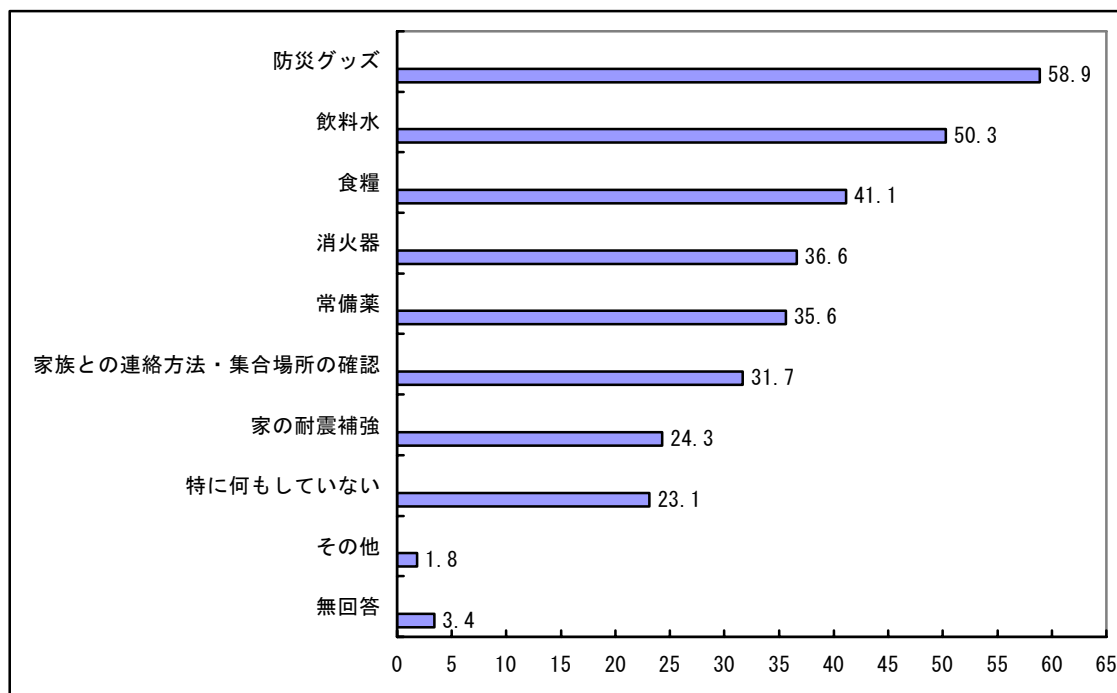
年代別では、国民保護計画、危機管理計画において、18～24歳の90%以上が「知らない」と回答している。

居住年数別では、地域防災計画において「知っている」と回答したのは、20年以上50.3%、生まれてからずっと40.6%であった。よって、居住年数が長いほうが認知度は高いことがわかる。

(2) 防災対策

6割近くが防災グッズを準備

問16 あなたは、大規模災害に対する備えを何か準備していますか。 (いくつでも選択)



大規模災害に対する備えで、最も高かったのは「防災グッズ」58.9%だった。続いて「飲料水」50.3%、「食糧」41.1%となっている。

性別・年代別で見ると、男性の25～29歳は「家族との連絡方法・集合場所の確認」18.2%と他の性別・年代別と比較して最も低い結果となっている。

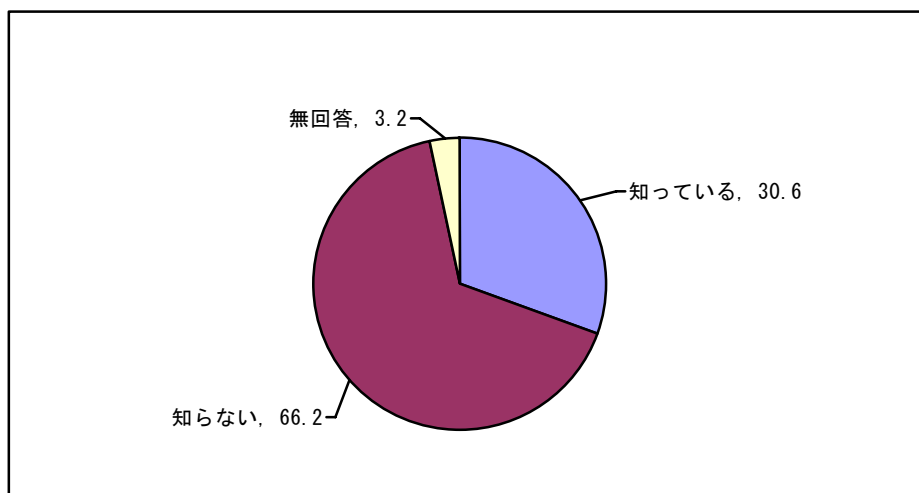
地域別では「防災グッズ」は全ての地域で一番高くなっている。また、全地域で最も高かったのは、大谷地域であった。「家族との連絡方法・集合場所の確認」では、上今泉地域が35.8%で最も高く、上郷・下今泉地域が23.9%と最も低かった。「特に準備していない」では、柏ヶ谷地域29.5%が最も高い結果となった。

居住年数別では「防災グッズ」は、5年以上10年未満以上では5割以上が備えており、高い結果となっている。

(3) J-ALERT の認知度

約3割がJ-ALERTを知っている

問17 市では、武力攻撃事態等にJ-ALERTにより、防災行政無線を使用してサイレン等により市民へ広報をおこなうことを存知ですか。(1つ選択)



J-ALERT の認知度について、「知っている」30.6%、「知らない」が66.2%という結果であり、「知らない」が上回っている。

性別では、女性のほうが「知っている」がやや高い。

性別・年代別では、75歳以上の女性が50.0%「知っている」と回答しており、高い結果であった。

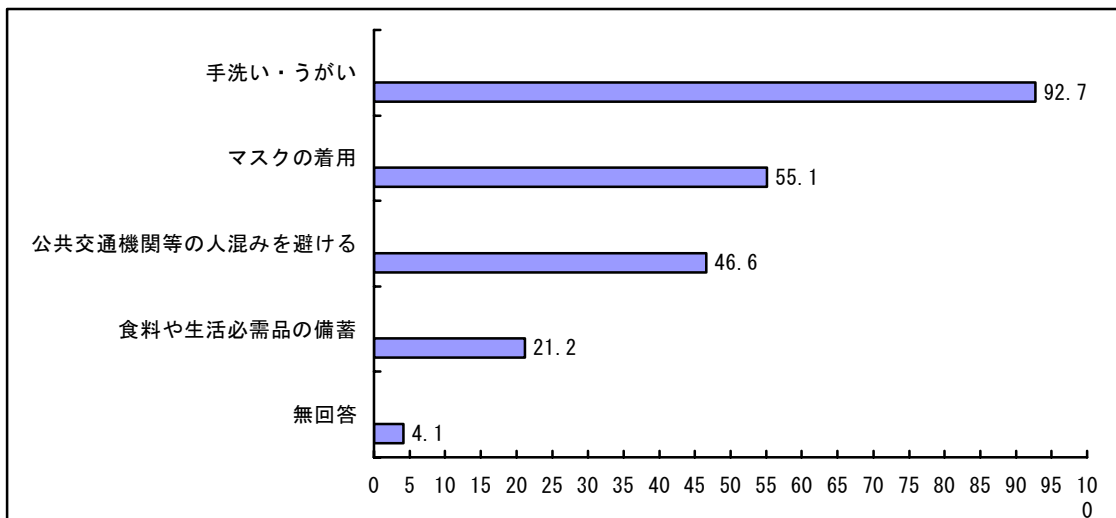
地域別での「知っている」は本郷地域42.9%が最も高かった。

居住年数別では、1年未満は「知らない」78.3%の回答となっており、認知度が低い。

(4) インフルエンザ対策

「手洗い、うがい」が9割超、「マスクの着用」が5割超

問18 インフルエンザが身近で発生した場合に備えて、日頃心がけていることをお答えください。(いくつでも選択)



インフルエンザに備えて日頃心がけていることについては、「手洗い、うがい」92.7%が最も高く、「マスクの着用」55.1%、「公共交通機関、集会等の人ごみを避ける」46.6%と続いている。全項目において、「手洗い、うがい」は約9割が回答しており高い割合となっている。

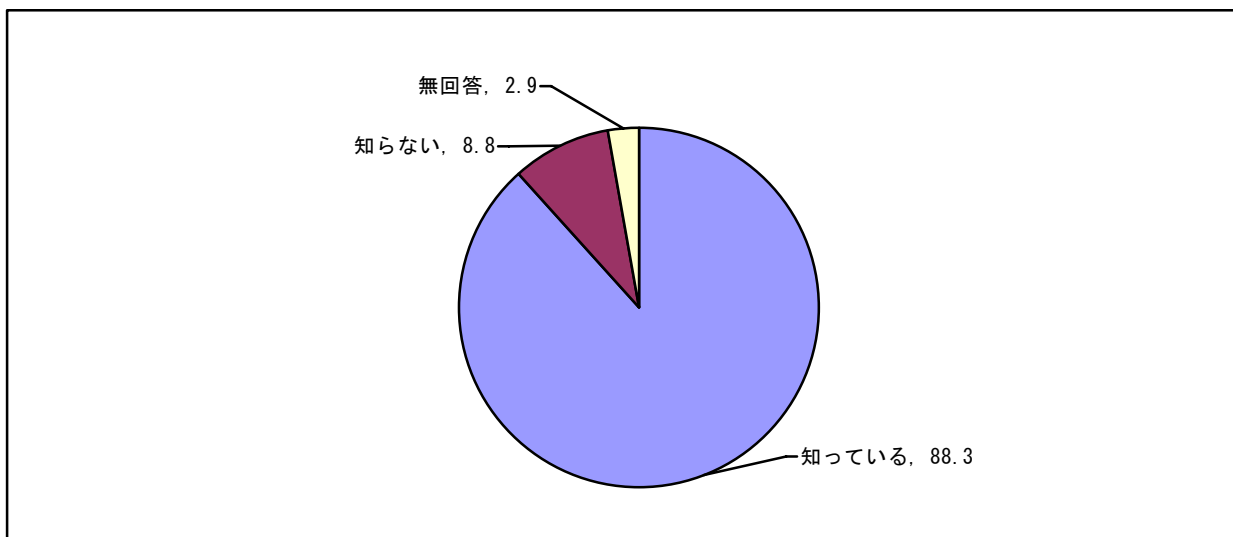
年代別では、「マスクの着用」、「手洗い、うがい」、「公共交通機関、集会等の人混みを避ける」で18～24歳が他の年代に比べて低い結果となっている。

性別・年代別で見ると、全ての備えにおいて、ほとんどの年代で女性が若干高めであった。

(5) 新型インフルエンザの対応

「知っている」が8割強

問18-1 新型インフルエンザにかかった場合、直接医療機関にいかず、発熱相談センターに電話することをご存知ですか。(1つ選択)



新型インフルエンザにかかった場合、直接医療機関に行かず、発熱相談センターに電話することについて、「知っている」88.3%、「知らない」8.8%だった。

性別・年代別で、「知っている」との回答は、25～29歳女性が95%と最も高く、続いて50～59歳女性の94.4%であった。

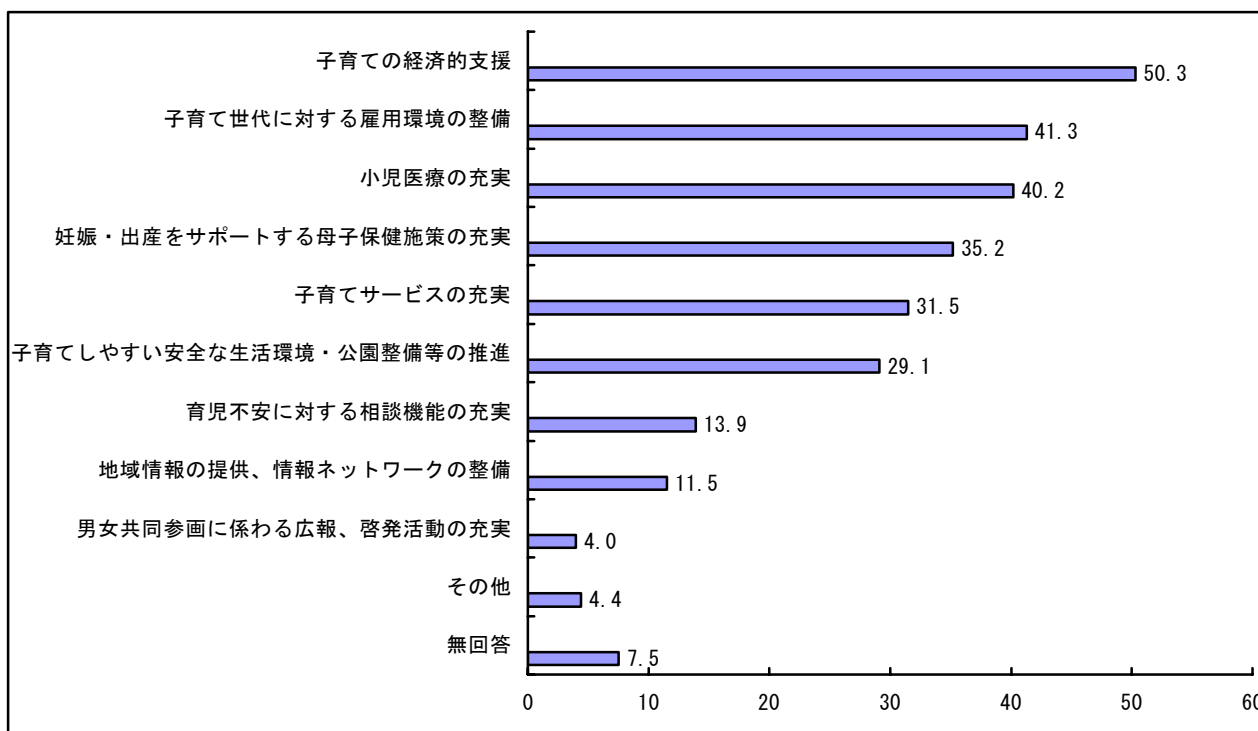
地域別で、「知っている」は門沢橋地域が高く、「知らない」は海西地域が高かった。

8 「少子化対策」

(1) 取り組んでほしい少子化対策

「子育ての経済的支援」が5割

問19 あなたが海老名市の少子化対策として、取り組んで欲しいものをお答えください。(3つまで選択)



海老名市の少子化対策として、取り組んでほしいものについて、「子育ての経済的支援」50.3%が最も高く、「子育て世代に対する雇用環境の整備」41.3%、「小児医療の充実」40.2%が続いている。

性別では、「子育ての経済的支援」は男女とも最も高いが、2、3番目で男性は全体と同じ順位であるのに対し、女性は「小児医療の充実」が2番目に高い結果となった。

年代別に見ると、「子育ての経済的支援」は40歳代までが高い。また、「妊娠・出産をサポートする母子保健施策の充実」が18～24歳、25～29歳では2位となっている。

性別・年代別に見ると、「子育ての経済的支援」は、18～24歳女性72.5%、25～29歳の男性70.5%で高い。「小児医療の充実」では、女性は全ての年代で比較的高いが、男性は全年代で女性と比べると低い結果となった。

地域別では、「子育ての経済的支援」は国分地域と社家地域で高く、「小児医療の充実」は本郷地域で高くなっている。

居住年数では、「子育ての経済的支援」は1年以上5年未満が最も高く、「子育て世代に対する雇用環境の整備」は生まれてからずっと、「小児医療の充実」は10年以上20年未満が高くなっている。

9 「環境・資源対策」

(1) 環境を保全するための日常生活で心がけていること

「不要な電化製品のスイッチをこまめに切っている」「節水を心がけている」が高い

問20 環境を保全するため、日常生活でどのようなことを心がけていますか。(項目ごとに1つ選択)

環境を保全するために日常生活で心がけていることについて、「行っている」の回答が最も高かったのは「不要な電化製品のスイッチは、こまめに切っている」63.7%で、「ときどき行っている」と合わせると90%台となっている。続いて「節水を心がけている」59.4%、「冷暖房の適正な温度設定(暖房20℃、冷房28℃)をしている」53.3%と続いている。「行っていない」の回答が最も高かったのは「太陽光発電や太陽熱の利用をしている」87.7%で、性別、年代別、地域別、居住年数の全ての分類において、最も高くなっている。以下では「太陽光発電や太陽熱の利用をしている」を除いた結果について記述する。

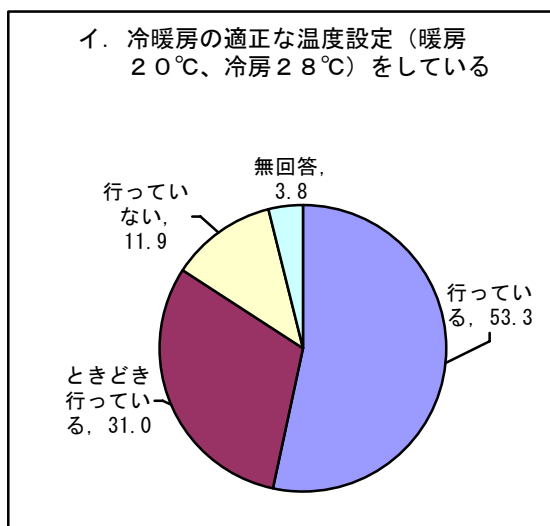
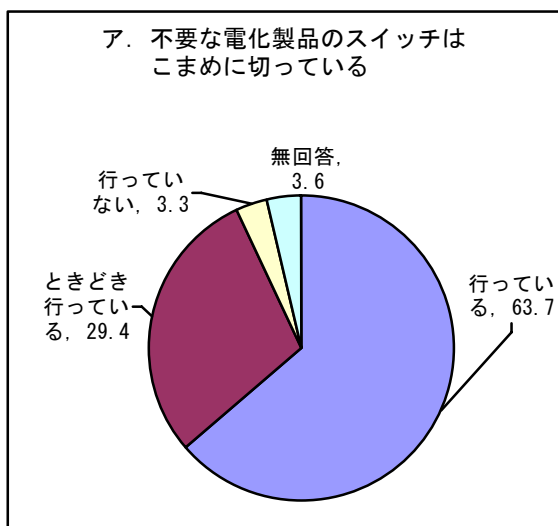
性別では、「行っている」については、「車の使用をできるだけ控え、不要なアイドリングをしないように心がける」の同率以外、女性は全ての項目で男性より高く、「行っていない」についても「車の使用をできるだけ控え、不要なアイドリングをしないように心がける」の以外の項目で男性が女性より高かった。

年代別では、おおむね「不要な電化製品のスイッチは、こまめに切っている」を「行っている」が最も高いが、「節水」を「行っている」25~29歳では、「不要な電化製品のスイッチは、こまめに切っている」と同率だった。

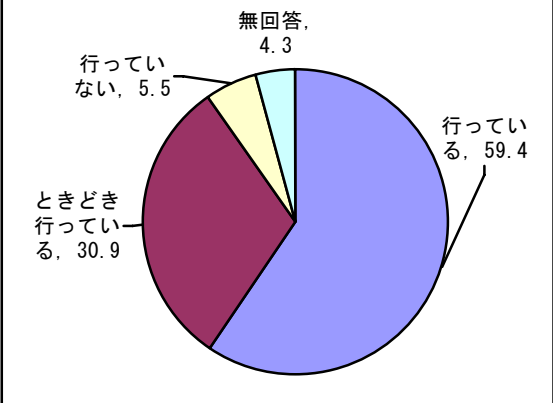
性別では75歳以上女性の「不要な電化製品のスイッチは、こまめに切っている」、「冷暖房の適正な温度設定(暖房20℃、冷房28℃)をしている」を「行っている」が最も高く、65~74歳女性の「不要な電化製品のスイッチは、こまめに切っている」を「行っている」が続いている。

地域別では、「不要な電化製品のスイッチは、こまめに切っている」を「行っている」での上今泉地域が69.1%で最も高く、次に同じ回答での上郷・下今泉地域が続いている。

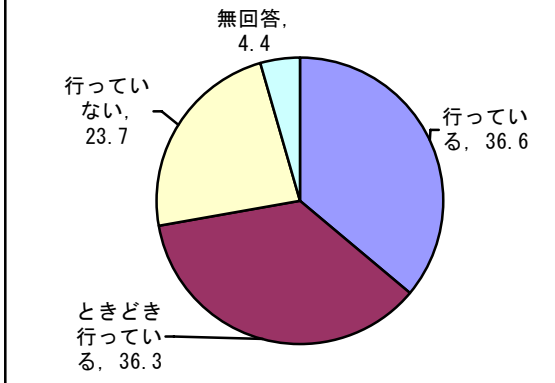
居住年数別では、「不要な電化製品のスイッチは、こまめに切っている」を「行っている」は1年未満が最も高く、生まれてからずっとが最も低い。「節水を心がけている」は生まれてからずっとで40%台と低い一方で、「太陽光発電や太陽熱の利用をしている」を「行っている」が10%台で最も高くなっている。



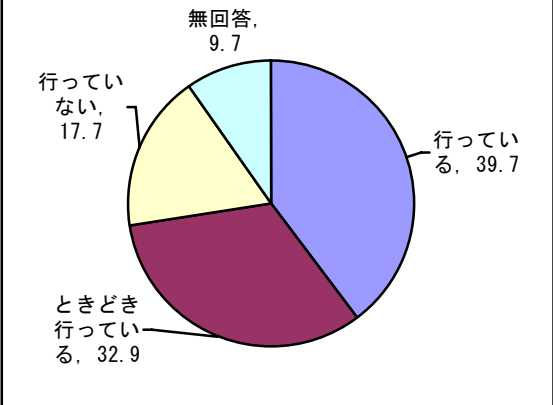
ウ. 節水を心がけている



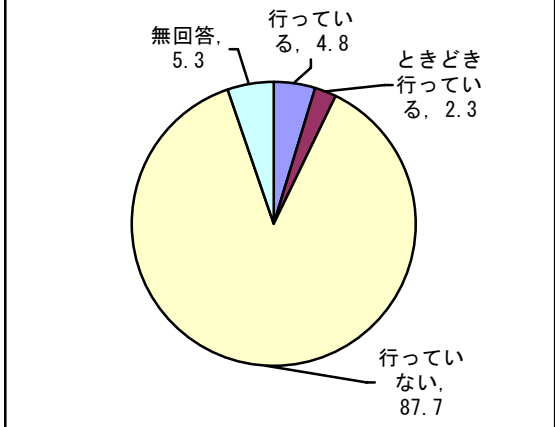
エ. 買い物に行くときは買い物袋を持参している



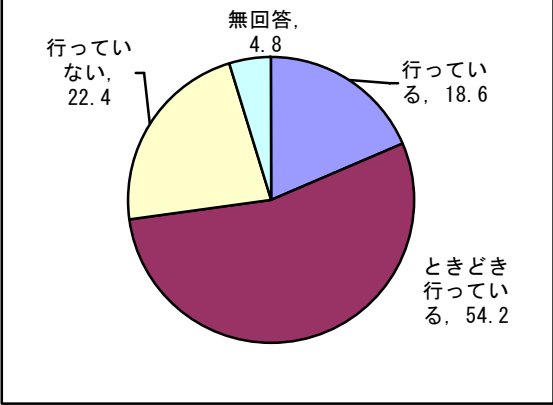
オ. 車の使用をできるだけ控え、不要なアイドリングをしないように心がけている



カ. 太陽光発電や太陽熱の利用をしている



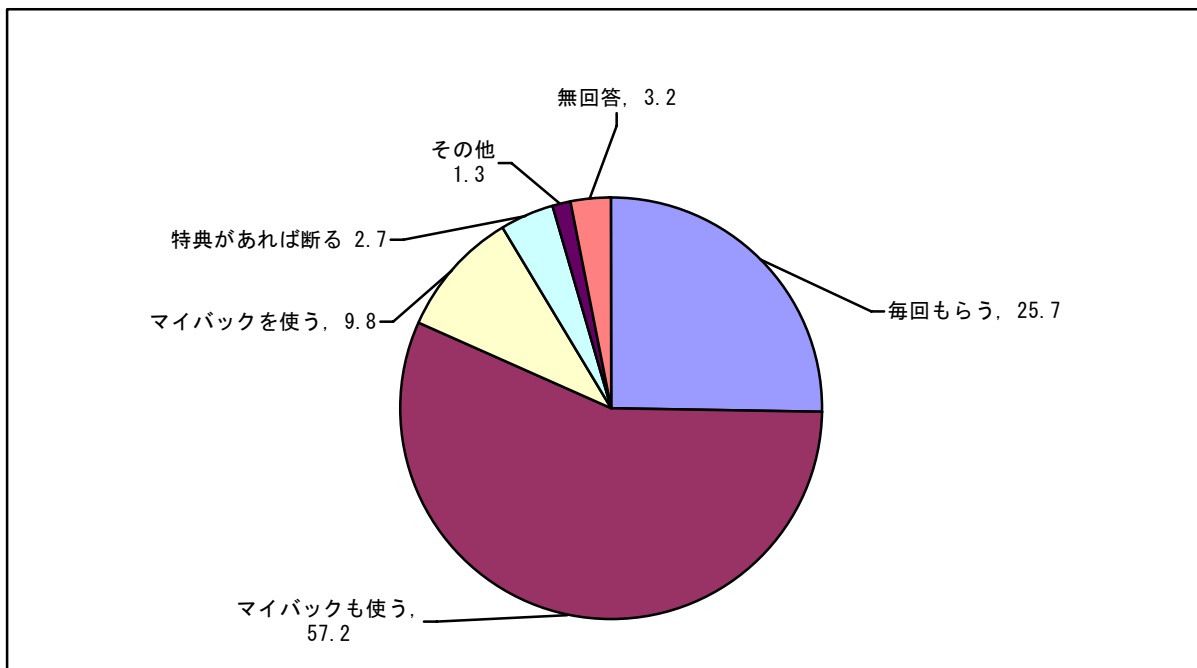
キ. 日用品は環境にやさしい製品を購入している



(2) レジ袋の使用状況

「時々もらい、マイバックも使う」が5割台半ば

問2 1 市では、廃棄物の発生抑制を推進するため、簡易包装やレジ袋の削減及びマイバック持参を呼びかけています。あなたは、買い物の際にレジ袋をもらいますか。(1つ選択)



買い物の際にレジ袋をもらうかについて、「時々もらい、マイバックも使う」57.2%が最も高く、続いて「毎回もらう」25.7%、「断ってマイバックを使う」9.8%と続いている。

性別では、「毎回もらう」は男性35.2%、女性17.1%と倍以上の割合で男性が高く、また「断ってマイバックを使う」は男性7.7%、女性11.8%と女性が高い結果となっている。

年代別の「断ってマイバックを使う」は、65～74歳15%、75歳以上11.3%が高く、逆に最も低いのは60～64歳4%であった。

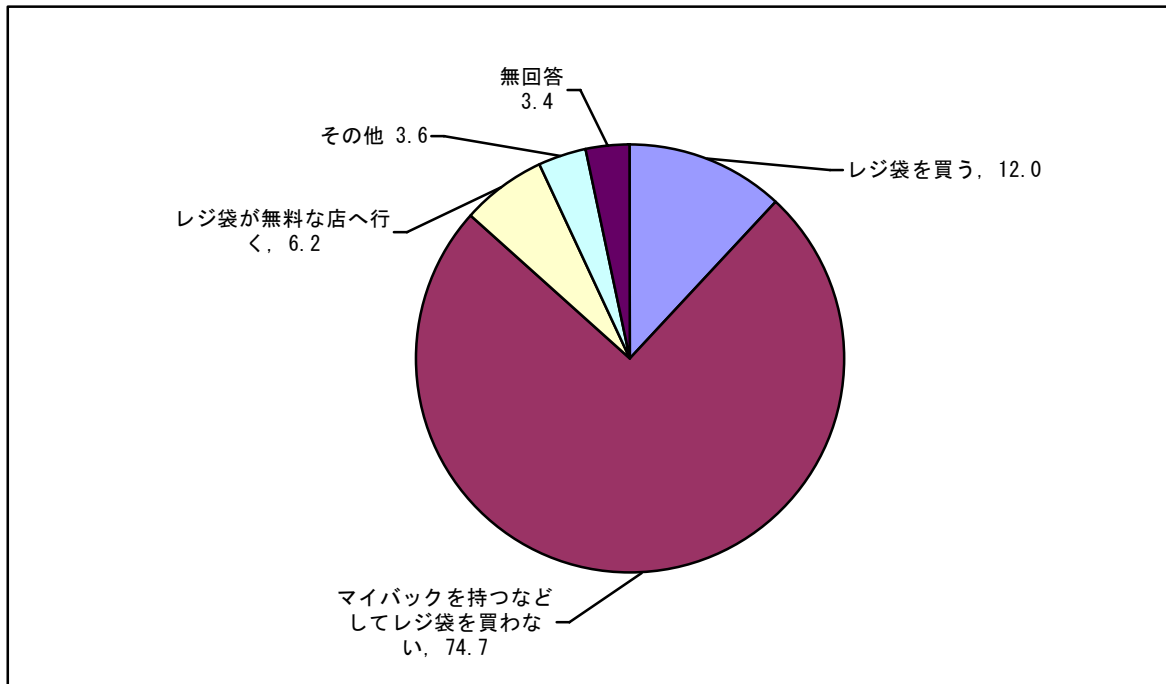
性別・年代別では、「断ってマイバックを使う」は男女とも65～74歳が最も高い。「特典（ポイントなど）があれば断る」は、30～39歳女性が最も高い結果となっている。

地域別では、門沢橋地域が「毎回もらう」47.3%で最も高く、「断ってマイバックを使う」では、柏ヶ谷地域が14.6%で最も高くなっている。

(3) レジ袋の有料化

「マイバックを持つなどしてレジ袋を買わない」が7割台半ば

問 2 2 レジ袋が有料（仮に5円）になった場合どうしますか。（1つ選択）



レジ袋が有料（仮に5円）になった場合どうするかについて、「マイバックを持つなどしてレジ袋を買わない」74.7%が最も高く、「レジ袋を買う」12.0%が続いている。

性別では、「マイバックを持つなどしてレジ袋を買わない」は、女性82.4%に対し、男性は66.2%で女性が高く、「レジ袋を買う」男性17.3%、女性7.3%、「レジ袋が無料な店へ行く」男性8.3%、女性4.2%で男性が高かった。

年代別では、全ての年代で「マイバックを持つなどしてレジ袋を買わない」が最も高かった。「レジ袋が無料な店へ行く」では、25～29歳が最も高かった。

性別・年代別では、「マイバックを持つなどしてレジ袋を買わない」は30歳代女性が最も高く、50歳代女性が2位、75歳以上女性が3位になっている。また、女性の年代の最下位の25～29歳75.0%は、男性で1位の65～74歳75.7%とあまり変わらず、男性よりも女性のほうが「マイバックを持つなどしてレジ袋を買わない」という回答が多いことがわかる。

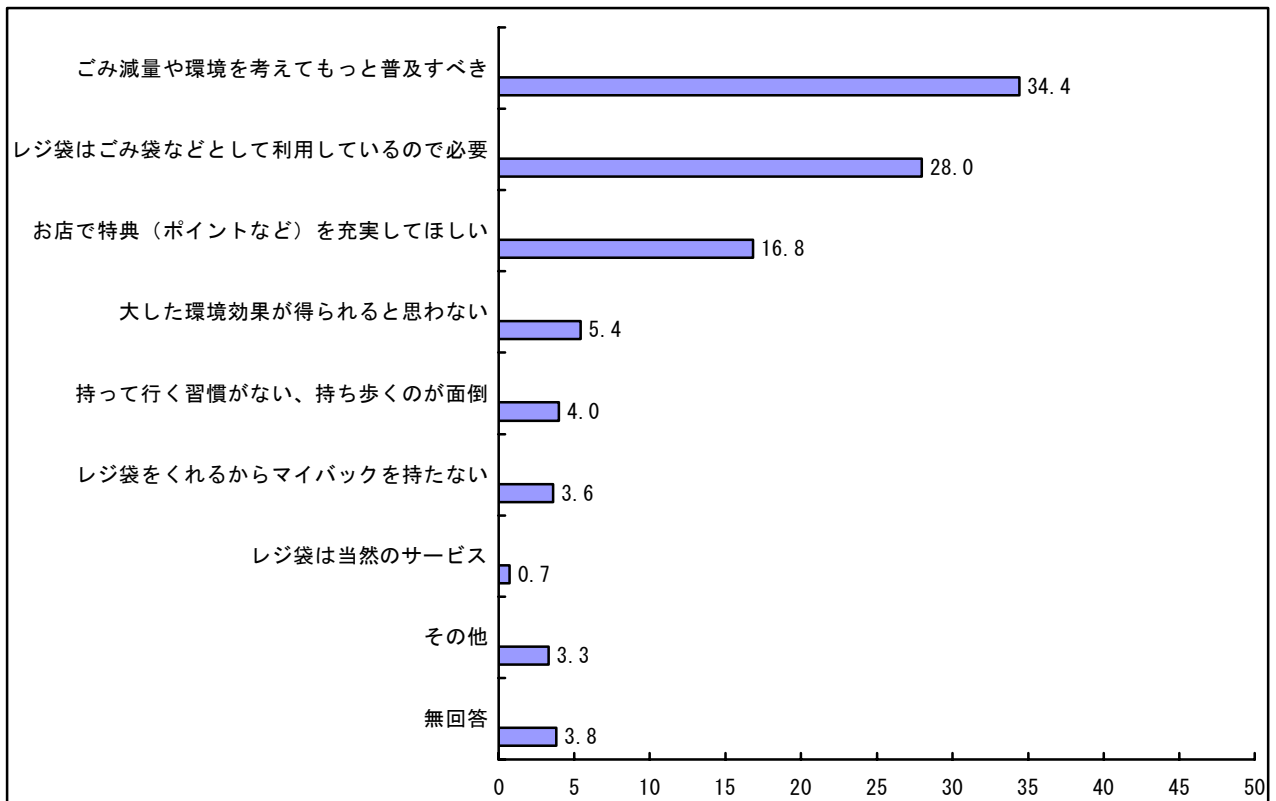
地域別では、「マイバックを持つなどしてレジ袋を買わない」は大谷地域が最も高く、「レジ袋が無料な店へ行く」では社家地域が高かった。

居住年数別では、「レジ袋を買う」、「レジ袋が無料な店へ行く」は1年未満が最も高く、「マイバックを持つなどしてレジ袋を買わない」は、最も低い結果であった。

(4) マイバックについて

「ごみ減量や環境を考えたもっと普及すべき」が3割超

問23 マイバックについてどう思いますか。(1つ選択)



マイバックについてどう思うかについて、「ごみ減量や環境を考えたもっと普及すべき」34.4%が最も高く、「レジ袋はごみ袋などとして利用しているので必要」28%、「お店で特典(ポイントなど)を充実してほしい」16.8%が続いている。

性別では、男性は全ての項目で上記の順位と同じだが、女性は1位から4位までは同順位だが、5位「レジ袋をくれるからマイバックを持たない」、6位「持って行く習慣がない、持ち歩くのが面倒」であった。

年代別では、30歳代以外は「ごみ減量や環境を考えたもっと普及すべき」が最も高かったが、30歳代では「レジ袋はごみ袋などとして利用しているので必要」が最も高かった。

性別・年代別では、「ごみ減量や環境を考えたもっと普及すべき」が男女ともに65～74歳が最も高かった。「大した環境効果が得られると思わない」は、18～24歳の男性では25%と高い結果となった。

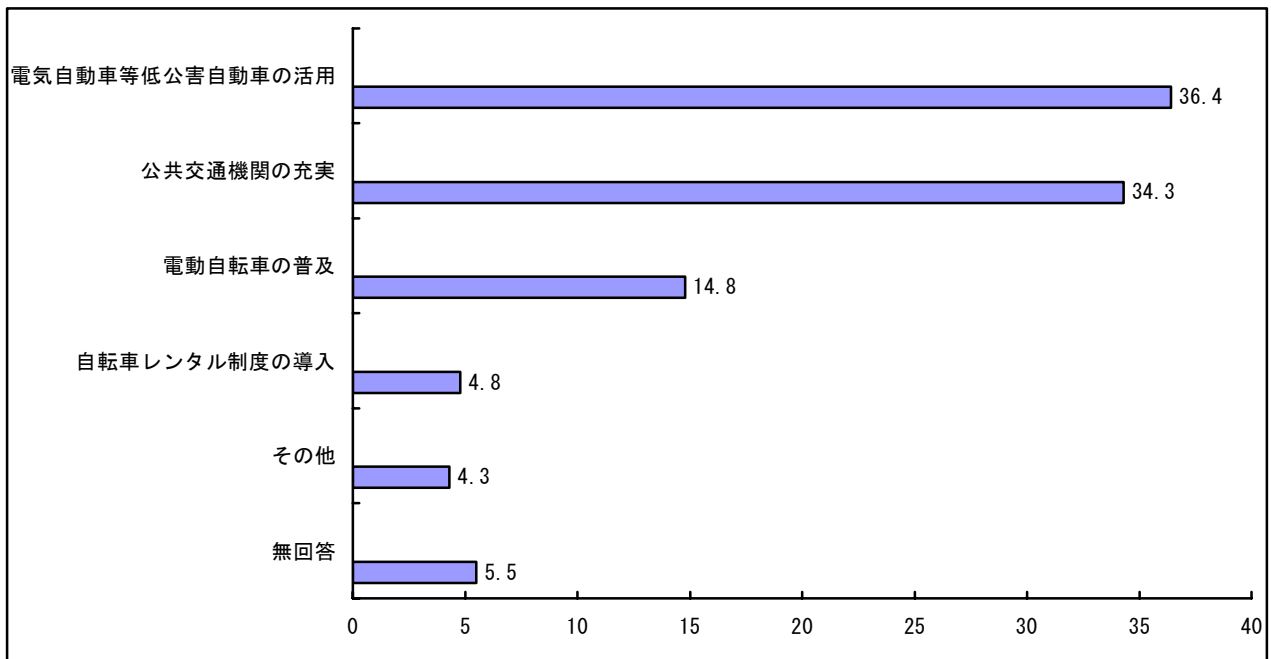
地域別では、「ごみ減量や環境を考えたもっと普及すべき」は、国分地域38.1%で最も高く、門沢橋地域14.9%と最も低かった。また、「レジ袋はごみ袋などとして利用しているので必要」では、門沢橋地域35.1%と最も高かった。

居住年数別では、1年以上5年未満を除いて、全ての居住年数において全体の順位と同じであった。また、「ごみ減量や環境を考えたもっと普及すべき」では、20年以上が最も高く、次に生まれてからずっとが続き全体からみても高い割合となっている。

(5) 温室効果ガス削減の取り組み

「電気自動車等低公害自動車の活用」「公共交通機関の充実」が3割超

問24 自動車等から排出される温室効果ガス削減のため、どのような取り組みがもっとも有効であると思いますか。(1つ選択)



自動車等から排出される温室効果ガス削減のため、どのような取り組みがもっとも有効であると思うかについて、「電気自動車等低公害自動車の活用」36.4%が最も高く、「公共交通機関の充実」34.3%、「電動自転車の普及」14.8%が続いている。

性別では、「電気自動車等低公害自動車の活用」は、男性39.1%が最も高く、「公共交通機関の充実」は、女性37.5%が最も高い結果となった。

年代別では、「電気自動車等低公害自動車の活用」は、50歳代、「公共交通機関の充実」は、75歳以上、「電動自転車の普及」では、18～24歳が最も高かった。

性別・年代別では、「公共交通機関の充実」が75歳以上女性で70.8%となっており、全体でみても非常に高く、次に25～29歳女性が50.0%と高い結果であった。

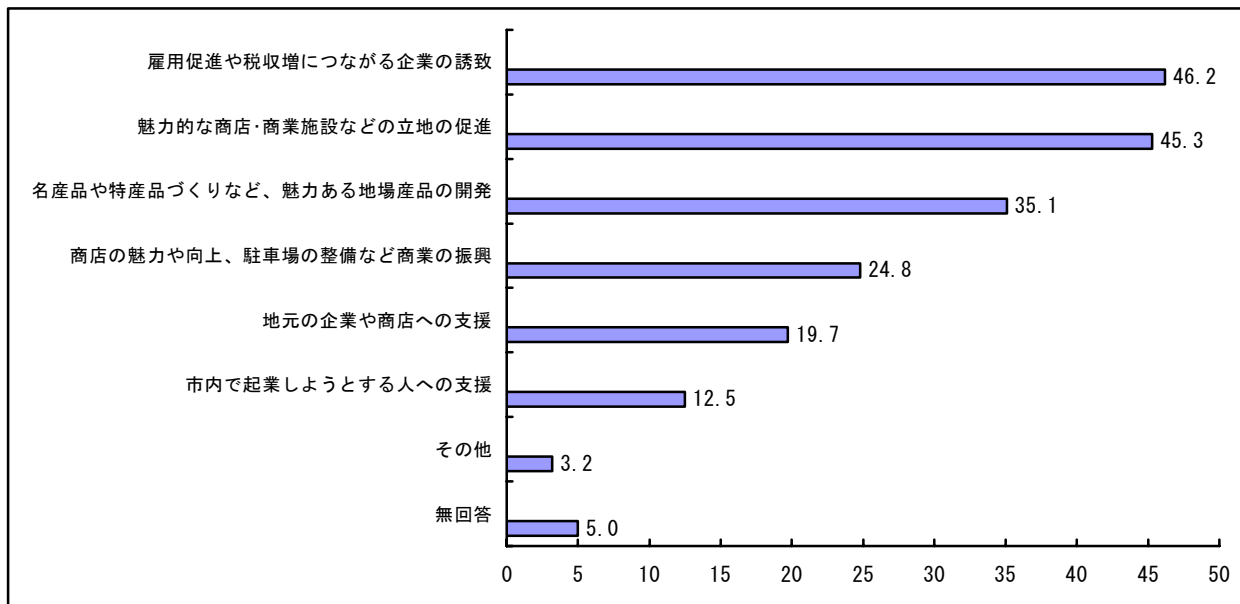
地域別では、「公共交通機関の充実」が本郷地域、門沢橋地域、上今泉地域が40%台と高くなっている。

10 「まちづくり」

(1) まちの発展と地域経済の活性化としての取り組み

「雇用促進や税収増につながる企業の誘致」「魅力的な商店・商業施設などの立地の促進」 で4割台半ば

問25 まちの発展と地域経済の活性化として、どのような取り組みが大切であると思いますか。
(2つまで選択)



まちの発展と地域経済の活性化として、どのような取り組みが大切であるかについて、「雇用促進や税収増につながる企業の誘致」46.2%が最も高く、続いて「魅力的な商店・商業施設などの立地の促進」45.3%、「名産品や特産品づくりなど、魅力ある地場産品の開発」35.1%となっている。

性別では、割合的には全項目で男女差はあまりなかったが、順位において男性は全体と同順位に対し、女性は1位「魅力的な商店・商業施設などの立地の促進」、2位「雇用促進や税収増につながる企業の誘致」、3位「名産品や特産品づくりなど、魅力ある地場産品の開発」であった。

年代別では「魅力的な商店・商業施設などの立地の促進」25～29歳、30歳代、「雇用促進や税収増につながる企業の誘致」65～74歳で50%を超えている。

性別・年代別では、「雇用促進や税収増につながる企業の誘致」18～24歳男性の59.4%が最も高かった。また、女性25～29歳、30歳代、40歳代、75歳以上では「魅力的な商店・商業施設などの立地の促進」が50%を超えていた。

地域別では、「雇用促進や税収増につながる企業の誘致」は本郷地域が最も低く、「魅力的な商店・商業施設などの立地の促進」は上郷・下今泉地域、本郷地域が50%を超え高くなっている。

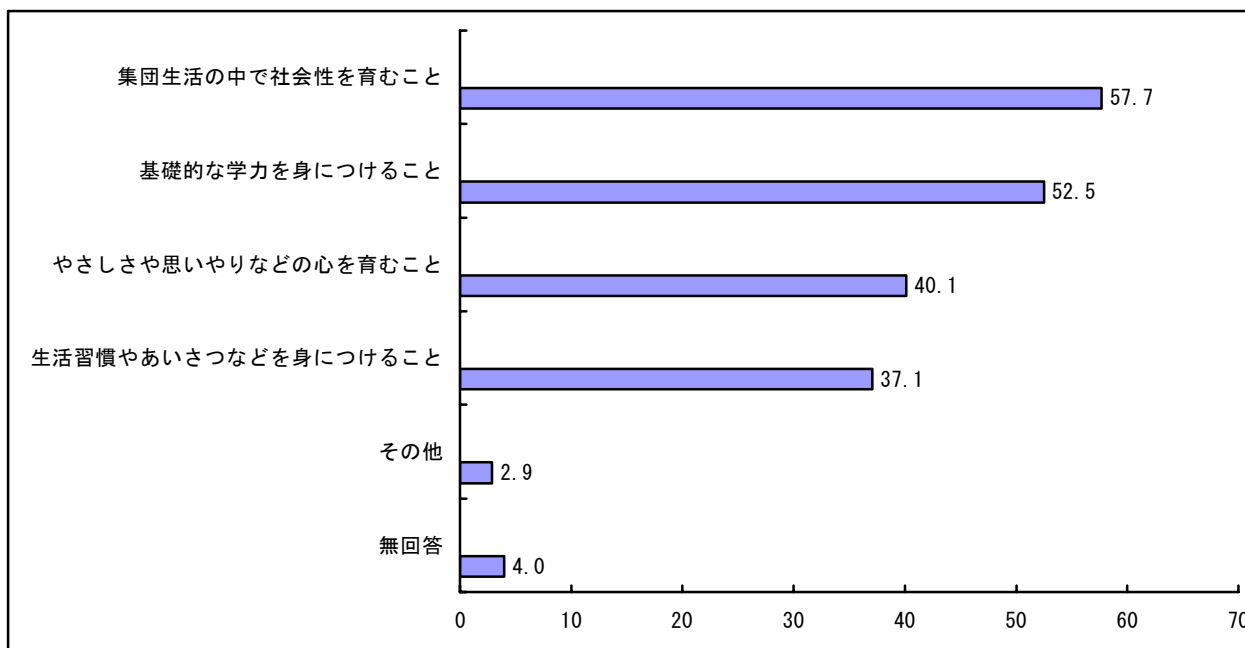
居住年数別では、1年以上5年未満の「魅力的な商店・商業施設などの立地の促進」57.1%が最も高く、5年以上10年未満の「雇用促進や税収増につながる企業の誘致」50.6%が続いている。

1 1 「学校教育・家庭教育」

(1) 学校教育での取り組み

「集団生活の中で社会性を育むこと」と「基礎的な学力を身につけること」で約5割

問26 あなたが小中学校の教育に期待すること。(2つまで選択)



小中学校の教育に期待することについて、「集団生活の中で社会性を育むこと」57.7%が最も高く、「基礎的な学力を身につけること」52.5%が続いている。

性別では、男女ともに「集団生活の中で社会性を育むこと」、「基礎的な学力を身につけること」が高い。

年代別では、65～74歳「基礎的な学力を身につけること」、75歳以上「生活習慣やあいさつなどを身につけること」の1位を除く、全ての年代で「集団生活の中で社会性を育むこと」は1位となっており、特に25～29歳、30歳代、40歳代で60%台となっている。

性別・年代別では、「集団生活の中で社会性を育むこと」は、男女とも75歳以上が低い結果となっている。また、「やさしさや思いやりなどの心を育むこと」は、男女ともに75歳以上が50%以上と高い結果であった。

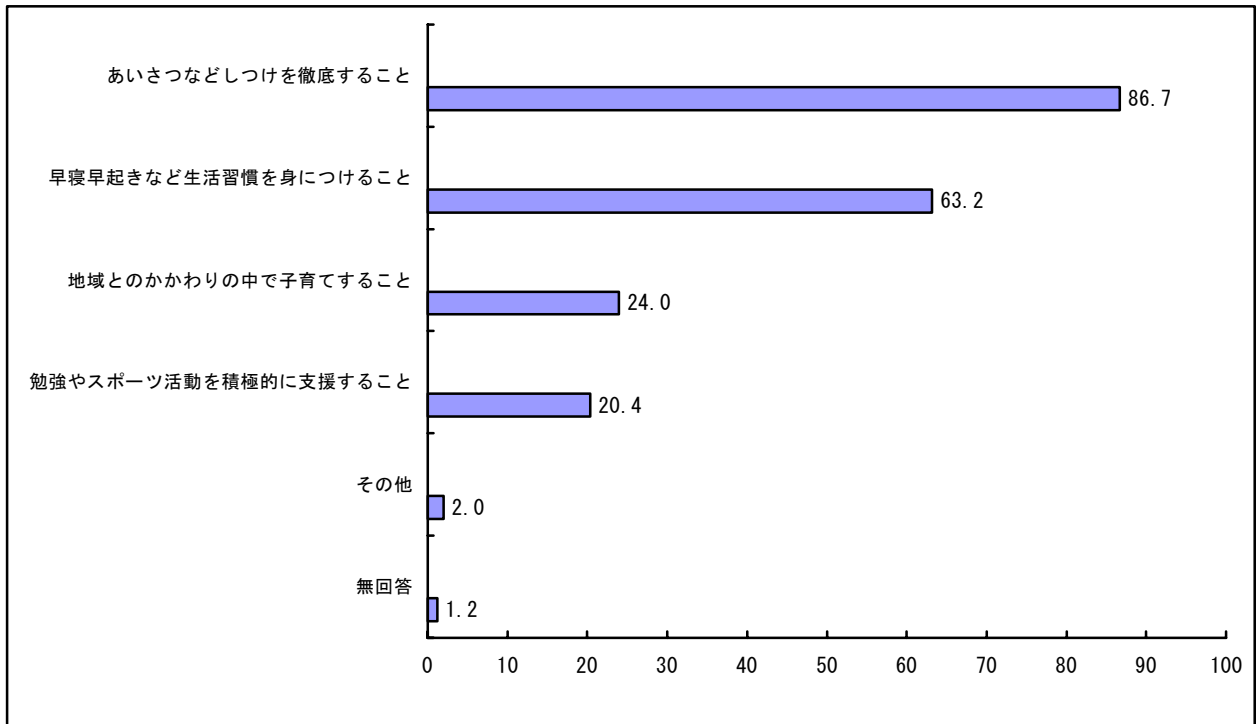
地域別では、門沢橋地域の「集団生活の中で社会性を育むこと」62.2%が最も高く、大谷地域、国分地域でも60%を超えている。

居住年数では1年以上5年未満で「集団生活の中で社会性を育むこと」が高く、「生活習慣やあいさつなどを身につけること」では1年未満が高い結果となっている。

(2) 家庭教育での取り組み

「あいさつや人に迷惑をかけないなどしつけ」が8割台半ば

問27 あなたが家庭の教育で大事だと思うこと。(2つまで選択)



家庭教育での取り組みで大事に思うことについて、最も高かったのは「あいさつや人に迷惑をかけないなどしつけを徹底すること」86.7%で、「早寝早起きや食事など基本的な生活習慣を身につけること」63.2%、「地域活動などに参加して地域とのかかわりの中で子育てすること」24.0%と続いている。

性別では、男女ともに上記の順位どおり。また、「早寝早起きや食事など基本的な生活習慣を身につけること」では、男性に比べると女性が高いが、「あいさつや人に迷惑をかけないなどしつけを徹底すること」、「勉強やスポーツなどの活動の支援」、「地域活動など地域とのかかわりの中で子育て」では、男性が高い結果であった。

年代別では、全ての年代で「あいさつや人に迷惑をかけないなどしつけを徹底すること」がほぼ80%以上で最も高い。

性別・年代別では、25～29歳男性の「あいさつや人に迷惑をかけないなどしつけを徹底すること」95.5%が最も高く、「勉強やスポーツなどの活動の支援」は、男女とも18～24歳が最も高かった。

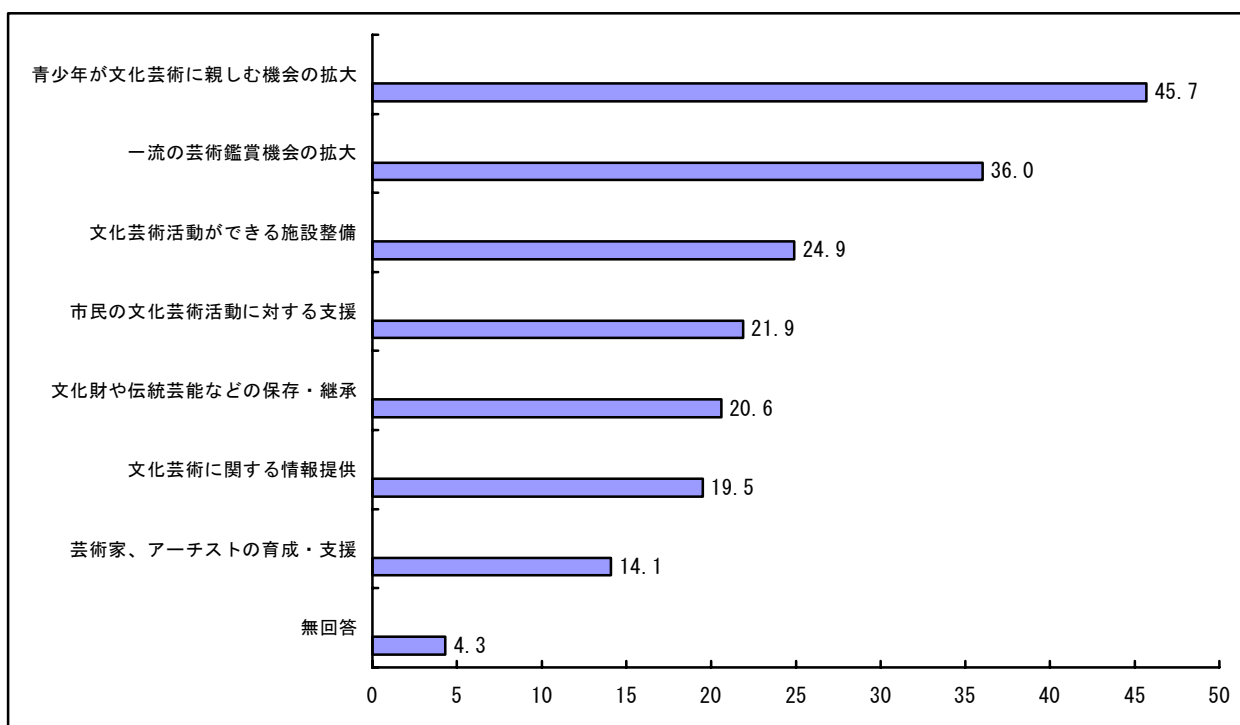
地域別では、「あいさつや人に迷惑をかけないなどしつけを徹底すること」、「地域活動など地域とのかかわりの中で子育て」は本郷地域で高い。また、「勉強やスポーツなどの活動の支援」は杉久保地域が高かった。

12 「文化」

(1) 海老名市の文化芸術の振興

「青少年が文化芸術に親しむ機会の拡大」が4割台半ば

問28 あなたは海老名市の文化芸術を振興するために、どのようなことをすればよいと思いますか。(2つまで選択)



海老名市の文化芸術を振興するために、どのようなことをすればよいと思うかについて、最も高いのは「青少年が文化芸術に親しむ機会の拡大」45.7%だった。続いて「一流の芸術鑑賞機会の拡大」36.0%、「文化芸術活動ができる施設整備」24.9%となっている。

性別では、全項目において男女差は少ないが、「市民の文化芸術活動に対する支援」では、男性がやや高めであった。

年代別では、「青少年が文化芸術に親しむ機会の拡大」は65～74歳、75歳以上が50%台と高く、「一流の音楽会や展覧会などの鑑賞機会の拡大」は60～64歳、18歳～24歳で40%台と高くなっている。

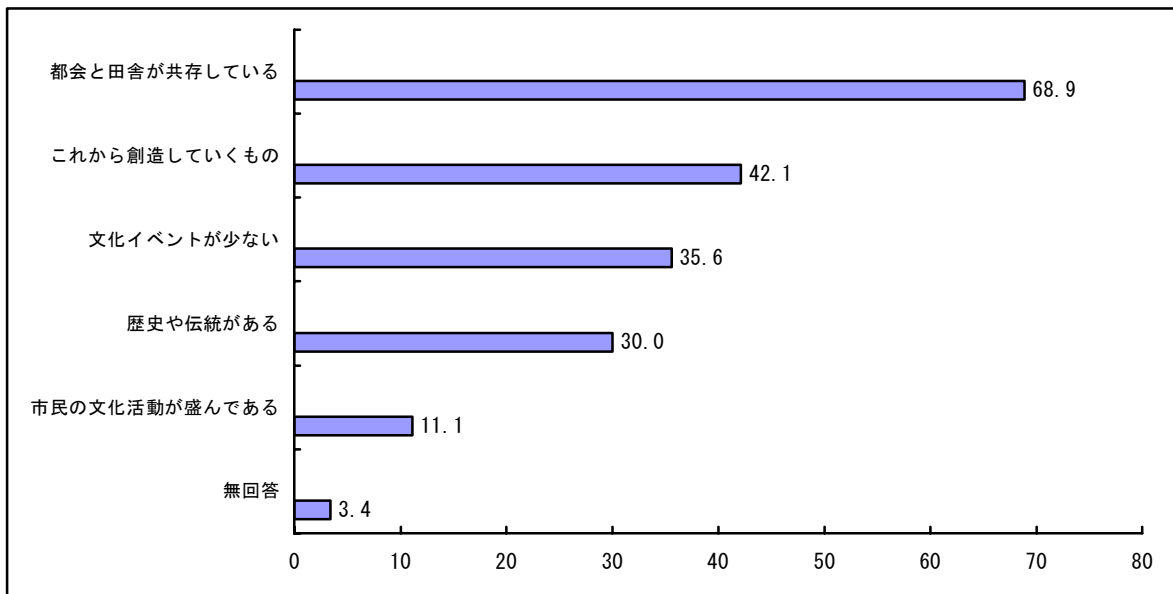
性別・年代別では、「青少年が文化芸術に親しむ機会の拡大」は男女ともに65～74歳、75歳以上が約50%と高い。また、「文化芸術に関する情報提供」は男性の75歳以上が最も高いのに対し、女性の75歳以上では最も低い結果となっている。逆に、「文化芸術活動ができる施設整備」では、女性の75歳以上が最も高いのに対し、男性の75歳以上では最も低い結果となっている。

地域別では、全ての地域において「青少年が文化芸術に親しむ機会の拡大」が最も高い。「文化芸術活動ができる施設整備」は、柏ヶ谷地域が高く、門沢橋地域が低い結果であった。

(2) 「海老名市の文化」のイメージ

「都会と田舎が共存している」が6割強

問29 あなたは「海老名市の文化」において、どのようなイメージをお持ちですか。
(2つまで選択)



「海老名市の文化」において、どのようなイメージを持っているかについて、最も高いのは「都会と田舎が共存している」68.9%だった。続いて「これから創造していくもの」42.1%、「文化イベントが少ない」35.6%となっている。

性別では、全項目において男女差は少なく、「歴史や伝統がある」に関しては、ほぼ同率であった。

年代別では、65歳～74歳、75歳以上は、1位「都会と田舎が共存している」、2位「歴史や伝統がある」、3位は「文化イベントが少ない」で、「歴史や伝統がある」が2位と他の年代に比べて高い結果となっている。

地域別では、「都会と田舎が共存している」は上郷・下今泉地域が最も高く、「歴史や伝統がある」では本郷地域が高い。

居住別では、「これから創造していくもの」は、居住年数が短いほど高くなっていく。また、「歴史や伝統がある」では、1年以上5年未満から居住年数が長いほど高い結果となった。

海老名市政アンケート調査

〈平成21年度調査〉

平成21年9月発行

調査実施及び発行

海老名市役所 総務部広聴相談課広聴相談担当

〒243-0492 海老名市勝瀬175番地の1

TEL 046-235-4567
